

栃木県埋蔵文化財調査報告第399集

# 境の明神遺跡

—快適で安全な道づくり事業費（県単）一般国道294号明神工区に伴う発掘調査—

2020.3

栃木県教育委員会  
公益財団法人とちぎ未来づくり財団

さかい みょう じん い せき

# 境の明神遺跡

—快適で安全な道づくり事業費（県単）一般国道 294 号明神工区に伴う発掘調査—

2020. 3

栃木県教育委員会  
公益財団法人とちぎ未来づくり財団

## 序

境の明神遺跡は、栃木県北東部の那須町寄居地区と福島県白河市白坂明神が接する県境に位置しています。

本遺跡は、旧奥州道中の街道沿いに所在し、遺跡の名称となった境の明神は、栃木県側に「玉津島神社」、福島県側に「住吉明神」が二社並立している神社の通称です。江戸時代には、松尾芭蕉が「おくのほそ道」の中で、境の明神峠を越えて奥州へ旅立っていく様子が記されており、今もその玄関口として多くの人を魅了しています。

この度、栃木県県土整備部による国道 294 号線拡幅工事に先立ち、路線内に所在する遺跡の取扱いについて、関係機関と協議の上、記録保存を目的とした発掘調査を行いました。

本報告書は、境の明神遺跡の発掘調査成果をまとめたものです。本書が県民の皆様にとって、郷土の歴史を理解する一助になるとともに、各方面において広く御活用いただければ幸いです。

最後になりましたが、発掘調査から報告書作成に至るまで、多大なる御協力をいたしました栃木県県土整備部、那須町教育委員会をはじめとする関係機関、並びに関係各位に対しまして、厚くお礼申し上げます。

令和2（2020）年3月

栃木県教育委員会

教育長 荒川 政利

## 例　言

- 1 本書は、栃木県那須町寄居地内に所在する境の明神遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 発掘調査は、令和元年度栃木県県土整備部道路整備課事業のうち、国道 294 号線拡幅工事に伴う発掘調査に伴う記録調査である。
- 3 調査は、栃木県より財団法人とちぎ未来づくり財団へ業務委託され、公益財団法人とちぎ未来づくり財団埋蔵文化財センターが、栃木県教育委員会事務局文化財課の指導のもと、実施したものである。
- 4 本遺跡の現地調査及び整理報告作業期間は、以下の通りである。

【発掘調査】令和元（2019）年6月17日～令和元（2019）年9月30日

　　担当者　調査課　副主幹　植木茂雄

【整理作業】令和元（2019）年12月1日～令和2（2020）年3月27日

　　担当者　整理課　嘱託調査員　長瀬豊和

- 5 本書の執筆・報告書作成は、整理担当者が行った。
- 6 境の明神遺跡の調査にあたり、以下の事業を委託した。  
重機による表土除去及び安全柵の設置は、株式会社高久組に委託した。  
基準点測量・航空写真撮影・遺構図化は、中央航業株式会社に委託した。  
陶磁器類の写真図化は、株式会社シン技術コンサルに委託した。
- 7 発掘調査中における遺構の写真撮影は調査担当者が行った。  
写真図版掲載遺物写真的撮影は株式会社シン技術コンサルに委託した。
- 8 金属製品の X 線撮影は埋蔵文化財センタープラスチック資料課副主幹車塙哲久が行った。
- 9 発掘調査・報告書作成にあたっては、次の方から御指導・御協力を賜った。  
　　栃木県県土整備部　那須町教育委員会　福島県県南建設事務所　白河市建設部文化財課　鈴木功  
　　鈴木一寿（順不同・敬称略）
- 10 陶磁器に関しては、次の方の御指導・御協力を賜った。  
　　長佐古真也　山下峰司　水元和美　石井たま子（順不同・敬称略）
- 11 石材鑑定については、次の方の御指導・御協力を賜った。  
　　荒川竜一（敬称略）
- 12 発掘調査の参加者は、次のとおりである。  
　　黒川周平　斎藤幸雄　高久一雄　高久昌彌（順不同・敬称略）
- 13 整理・報告書作成作業の参加者は次の通りである。  
　　新井勝美　中谷美智子　根本弥幸　三室裕子（順不同・敬称略）
- 14 本発掘調査は、本書をもって正式報告とする。
- 15 本遺跡の出土遺物・図面写真資料等については、栃木県が保有し、栃木県埋蔵文化財センターに保管、財団法人とちぎ未来づくり財団埋蔵文化財センターが管理している。

## 凡 例

- 1 境の明神遺跡の略号は NS-SK である。
- 2 発振調査時の遺構は、S-00 の略号で示した。
- 3 遺構図と遺物実測図の縮尺は図版ごとに示した。
- 4 標高は、海拔標高である。
- 5 遺跡のグリッド配置図は、世界地形の座標に基づき、その座標は北である。
- 6 出土遺物の寸法は観察表ごとに示した。
- 7 表中に遺物の計測値の（ ）は、復元値を表す。
- 8 陶磁器観察表の年代は、推定される上限年代を示した。
- 9 実測図と写真図版の番号は同じである。

# 目 次

序

例言

凡例

挿図目次

表目次

## 第1章 調査の経緯

|                    |   |
|--------------------|---|
| 第1節 調査に至る経緯 .....  | 1 |
| 第2節 調査の方法と経過 ..... | 3 |

## 第2章 遺跡の環境

|                 |   |
|-----------------|---|
| 第1節 地理的環境 ..... | 3 |
| 第2節 歴史的環境 ..... | 4 |

## 第3章 発見された遺構と遺物

|                      |   |
|----------------------|---|
| 第1節 遺構の概要 .....      | 5 |
| 第2節 発見された遺構と遺物 ..... | 5 |

## 第4章 総括 .....

43

# 挿図目次

|                      |    |
|----------------------|----|
| 第1図 境の明神遺跡位置図 .....  | 1  |
| 第2図 発掘調査箇所 .....     | 6  |
| 第3図 遺構配置図 .....      | 7  |
| 第4図 遺構平面図（1） .....   | 8  |
| 第5図 住居跡推定範囲図 .....   | 8  |
| 第6図 遺構平面図（2） .....   | 9  |
| 第7図 遺構平面図（3） .....   | 10 |
| 第8図 陶磁器実測図（1） .....  | 12 |
| 第9図 陶磁器実測図（2） .....  | 13 |
| 第10図 陶磁器実測図（3） ..... | 14 |
| 第11図 陶磁器実測図（4） ..... | 15 |
| 第12図 陶磁器実測図（5） ..... | 16 |
| 第13図 陶磁器実測図（6） ..... | 17 |
| 第14図 陶磁器実測図（7） ..... | 18 |
| 第15図 陶磁器実測図（8） ..... | 19 |

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 第 16 図 陶磁器実測図 (9) ..... | 20 |
| 第 17 図 鉄製品実測図 (1) ..... | 21 |
| 第 18 図 鉄製品実測図 (2) ..... | 22 |
| 第 19 図 鉄製品実測図 (3) ..... | 23 |
| 第 20 図 鉄製品実測図 (4) ..... | 24 |
| 第 21 図 鉄製品実測図 (5) ..... | 25 |
| 第 22 図 鉄製品実測図 (6) ..... | 26 |
| 第 23 図 金属・土製品実測図 .....  | 27 |
| 第 24 図 石製品実測図 (1) ..... | 28 |
| 第 25 図 石製品実測図 (2) ..... | 29 |
| 第 26 図 古銭拓影 (1) .....   | 29 |
| 第 27 図 古銭拓影 (2) .....   | 30 |
| 第 28 図 古銭拓影 (3) .....   | 31 |
| 第 29 図 古銭拓影 (4) .....   | 32 |

#### 表目次

|                      |    |
|----------------------|----|
| 第 1 表 陶磁器観察表 .....   | 33 |
| 第 2 表 金属製品観察表 .....  | 37 |
| 第 3 表 銅・土製品観察表 ..... | 41 |
| 第 4 表 石製品観察表 .....   | 41 |
| 第 5 表 寛永通宝計測表 .....  | 42 |

## 図版目次

|                          |                         |
|--------------------------|-------------------------|
| 図版一 境の明神遺跡航空写真（南西から）     | SI-01 完掘写真（南西から）        |
| 境の明神遺跡航空写真（西から）          | SI-01 完掘写真（北西から）        |
| 境の明神遺跡航空写真（真上から上が北東）     | 4 区古銭出土状況（北から）          |
| 「從是北白川領」の石柱（北から）         | 境の明神（玉津島明神）（南東から）       |
| 境の明神県境（南から）              | 境の明神（住吉神社）（南東から）        |
| 図版二 SK-06 遺物出土状況（北から）    | 境の明神の辻（下野側から：南西から）      |
| SK-06 遺物出土状況（南東から）       | 境の明神の辻（下野側から：南から）       |
| SK-07 遺物出土状況（北東から）       | 図版四 遺物写真（12-109～12-116） |
| SK-08 磬出土状況（南から）         | 遺物写真（13-117～13-133）     |
| 1 区 P-01, 02 完掘状況（北東から）  | 遺物写真（14-134～14-140）     |
| 1 区 P-01 完掘（磬出土）状況（北西から） | 図版五 遺物写真（14-142～14-147） |
| 1 区 P-02 完掘（磬出土）状況（北西から） | 遺物写真（15-148～15-164）     |
| 4 区遺構完掘状況（北西から）          | 図版六 遺物写真（15-165・15-166） |
| 図版三 SI-01 航空写真（南西から）     | 遺物写真（21-164～21-179）     |

## 第1章 調査の経緯

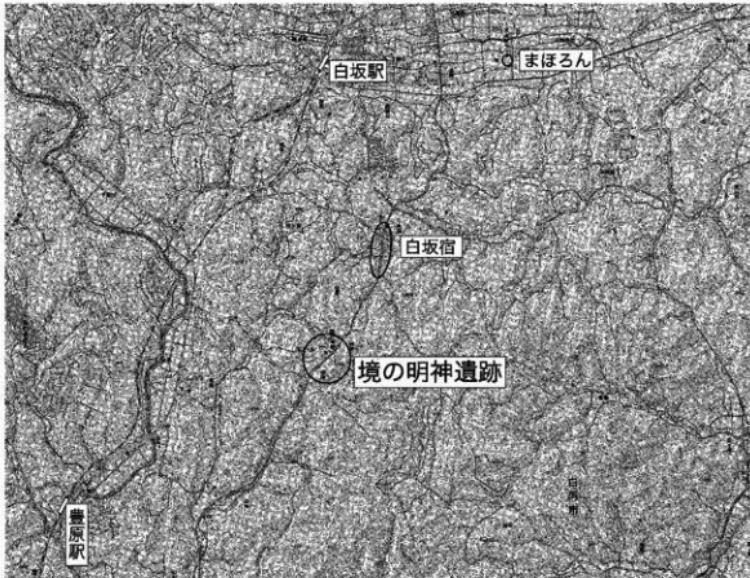
### 第1節 調査に至る経緯

国道294号は、千葉県柏市を起点とし、終点の会津若松市にいたる総延長約240kmの一般国道である。栃木県那須町芦野から福島県白河市女石までの区間は、江戸時代の主要道路であった、奥州街道と重複している。この区間は奥州街道が原型のため、幅員が狭く走行に支障があることから、バイパス工事等による道路の改良が行われ、現在は県境付近まで、快適に走行できるように改善されている。しかし、県境に近づくと、道路の幅員は狭くなり、穏やかな峠となる。この峠の栃木県側に境の明神遺跡が所在している。

峠を挟んで栃木県側も福島県側も道路の整備が進んでいるが、現況では栃木県側が福島県側より狭くなっている。輸送用の大型トラックが多く通行することから、安全上の問題が指摘されており、緊急輸送道路上にも指定され、災害時の交通の要となっていることから、幅員の拡張が必要とされた。

国道294号那須町明神工区の拡幅工事に先立ち、平成27年5月25日の所在調査を実施された。工事範囲には境の明神が所在し、寛延4年の絵図によれば計画地内に境の明神村が描かれており、近世の遺構が所在する可能性が高いと判断された。また、当該地は国指定名勝「おくのはそ道の風景地」の候補地となっていることから、名勝指定に係る協議を実施した上で、埋蔵文化財の取扱いを協議することとなった。

「おくのはそ道の風景地」とは、平成24年度に文化庁が新たなる名勝指定として、一連のつながりで評価できる風致景観を検討したもので、その候補として「おくのはそ道」の関係地域の調査を開始している。この結果、栃木県内では、条件が整った日光市のガンマンガ淵、大田原市の八幡宮（那須神社境内）、那須町の殺生石な



第1図 遺跡の位置

どの地区について、平成 26 年 3 月 18 日付けで指定された。その後も条件が整った地区について追加指定が進められることとなった。工事範囲の埋蔵文化財の取扱いについて、平成 27 年～平成 29 年度に毎年実施する、埋蔵文化財個別打合せ会において、当該事業について協議を行った。名勝に係る協議経過は以下のとおりである。

平成 27 年 10 月 1 日 文化庁・栃木県教育委員会・福島県教育委員会・那須町教育委員会・白河市教育委員会による現地協議を行い、指定範囲等を検討した。

平成 27 年 10 月 26 日 栃木県教育委員会と栃木県土整備部による工事計画協議により、景観への影響が最小限となるよう検討を進めることで一致した。

平成 27 年 11 月 27 日 文化庁・栃木県教育委員会で協議を行い、文化庁から拡幅範囲の縮小について検討の指示があった。

平成 28 年 2 月 25 日 栃木県教育委員会・栃木県土整備部・福島県教育委員会・福島県土整備部・白河市教育委員会・那須町教育委員会による工事計画の協議を行った。

平成 28 年 3 月 14 日 文化庁・栃木県教育委員会・栃木県土整備部による協議が行われ、文化庁は道路の拡幅については了解をしたが、拡幅範囲の縮小案についての比較検討の指示があった。

平成 28 年 8 月 25 日 栃木県教育委員会・福島県教育委員会・白河市教育委員会・那須町教育委員会による協議が行われた。

平成 28 年 10 月 19 日 文化庁・栃木県教育委員会・福島県教育委員会・白河市教育委員会・那須町教育委員会による現地協議が行われ、工事計画を現地で確認し合意した。

これらの協議を経て、平成 30 年 8 月 29 日に平成 30 年度埋蔵文化財個別打合せ会が行われ、栃木県土整備部大田原土木事務所と栃木県教育委員会の協議により、平成 31 年度の発掘調査実施について調整がされた。

これにより、令和元年度に入り、令和元（2019）年 5 月 1 日付け文財号外で文化財課長から公益財団法人とちぎ未来づくり財団理事長宛「令和元年度県土整備部事業に伴う埋蔵文化財発掘調査（境の明神遺跡）の費用見積について（依頼）」において見積書の提出依頼がなされ、同日付とち埋文号外「令和元年度県土整備部事業に伴う埋蔵文化財発掘調査（境の明神遺跡）の費用見積について（回答）」により、見積書を提出した。令和元（2019）年 5 月 1 日付け文財号外で「令和元年度県土整備部事業に伴う埋蔵文化財発掘調査（境の明神遺跡）の契約の締結について（依頼）」があり、「埋蔵文化財発掘調査業務委託契約書」に基づき、栃木県と公益財団法人とちぎ未来づくり財団の間で委託契約が締結された。契約期間は令和元年 5 月 1 日から令和 2 年 3 月 30 日で、発掘調査は令和元年 6 月 1 日から 9 月 31 日、整理・報告書作成作業は令和元年 12 月 1 日から令和 2 年 3 月 30 日で行われる事となった。

発掘調査、整理作業の進捗に合わせ、作業の内容に変更が生じたため、令和 2（2020）年 2 月 25 日付け文財号外で文化財課長から公益財団法人とちぎ未来づくり財団理事長宛「令和元（2019）年度県土整備部事業に伴う埋蔵文化財発掘調査（境の明神跡）の費用見積について（依頼）」において、契約変更のための見積書の提出依頼がなされ、同日付とち埋文号外「令和元（2019）年度県土整備部事業に伴う埋蔵文化財発掘調査（境の明神跡）の費用見積について（回答）」により、見積書を提出した。令和 2（2020）年 2 月 25 日付け文財号外で「令和元年度県土整備部事業に伴う埋蔵文化財発掘調査（境の明神遺跡）の委託契約の変更について（依頼）」があり、「埋蔵文化財発掘調査業務委託契約書の変更契約書」に基づき、栃木県と公益財団法人とちぎ未来づくり財団の間で変更契約が締結された。

## 第2節 調査の方法

国道294号那須町明神工区に伴う発掘調査のため、路線が南北に長く、道路の拡幅工事によるため、調査区も南北に細長くなっている。民家や畠地があることから、出入りなどの生活に支障のないように、北側県境より、1区から5区に分割し調査区を設定し、調査を実施した。

表土除去は重機を使用して、調査区北側から実施した。1区は灰白色の岩盤面まで削平し遺構を検出した。2区は斜面で、灰白色の岩盤面が崖状になっており、遺構の検出はなかった。3区は、表土面から約0.3～0.4mで土間状の硬化面が確認出来た事から、その面から若干高い位置まで重機により掘削し、その後作業員による遺構の確認を行った。土間状の硬化面は住居跡で、柱穴などを確認することができた。調査後には遺構面より下を掘削し、約1.4mで、灰白色的岩盤面を確認した。堆積土は黒色土で、遺物や遺構等は確認出来なかった。4区は傾斜地で、遺構は検出できなかった。5区は、黒色土が深く堆積していたが、調査区の上層を確認しながら、柱穴を確認することができた。6区は重機により、地表面から0.8～0.9mまでの堆積土を削平したが、遺構は検出できなかった。

5区の柱穴の確認できた箇所から南側では、遺構の検出はなかった。

## 第2章 遺跡の環境

### 第1節 地理的環境

境の明神遺跡は、栃木県北東部の那須町寄居に所在し、福島県との県境に位置している。

栃木県は、関東地方の北部中央に位置した内陸県である。東西に75km、南北に98km、面積は約6,400km<sup>2</sup>である。西に群馬県、東に茨城県、南に埼玉県・茨城県、北に福島県が隣接している。地形的には、西部山地・中央部平地・東部山地に大きく分けられる。

現在の那須町は、栃木県の最北東端に位置し、総面積372.34km<sup>2</sup>を有し、栃木県の約6%の面積を占めている。町域の北と東側は福島県と接しており、関東地方と東北地方の境界になっている。西に那須塩原市（旧黒磯市）、南に大田原市（旧黒羽町）が隣接している。町の中央部には、南北にJR東北本線・東北新幹線・国道4号線・東北縦貫道などの東京と東北地方を結ぶ交通の大動脈が走っている。

那須町北西部には、茶臼岳（標高1,917m）を起点に那須連山を形成し、中央部は高久丘陵地帯が北西から南東方向へなだらかに傾斜して広がる。東部は、八溝山（標高1,022m）を中心に八溝山地が南北に連なり、福島・栃木・茨城の県境となっている。那須連山や八溝山系のため起伏に富んだ地形が発達し、その裾野に殺生石や那須御用邸が所在する那須扇状地も広がるが、平坦面の少ない環境である。

河川としては、八溝山地を水源とする三蘗草や奈良川、那須山麓から高久丘陵を南に流れる黒川や余笠川が伊王野の集落の南で合流する。また、那須岳を水源とする那珂川は、那須野が原扇状地に北東を流れ、那須町の南端に流入している。その後、那珂川は茨城県境の八溝山地を南に流れ、那須野が原の南端、塙谷郡境を流れてきた幕川と佐良土・小川付近で合流する。さらに南へ下り鳥山の南で塙谷郡西部山麓から流れ下る荒川と内川が合流し、茂木町付近で八溝山地の南端から茨城県に入り、那珂湊から太平洋へ流れいく。

那須町はそれぞれの地域に、観光・歴史・産業など様々な特色がある。芦野地区や伊王野地区は町域の東部に位置し、旧奥州道中（国道294号線）の宿場町や城下町として栄えていた。ここでは米作中心の農業・八溝材の林業のほかに、芦野地区では芦野石の生産加工も行われている。また西行や松尾芭蕉が詠んだ遊行柳や御殿山など、観光振興や地域の活性化も担っている。那須地域（黒田原地区・高久地区）は、町の中心

地として、行政・産業・流通の中心的役割を有している。高久地区には、工業団地が立地しているため、人口増加がみられ、宅地開発や公園整備などが進められている。高原地域は那須連山の裾野に広がり、東北自動車道や東北新幹線が通じているため、東京から日帰り可能なりゾート地域になっている。

今回調査対象となった国道294号線は、1970年に制定されたもので、千葉県柏市から福島県会津若松市までの総延長約240kmの国道である。主な経過地として、我孫子市、取手市、筑西市を通り、本県には真岡市、益子町、茂木町、那珂川町、大田原市を通り、那須町境の明神遺跡の目の前の県境を越えて、福島県白河市を行くルートになっている。那須町は千葉県柏市から約150km、宇都宮市から約70km北にあたり、さらに北へ約40km行くと福島県郡山市に至る場所に位置している。

#### 参考文献

阿久津純 1976 柏木県史編さん委員会編『柏木県史』資料編 考古1

那須町誌編さん委員会編 1976『那須町誌』前編

阿部昭編 2002『日光道中と那須野ヶ原』街道の日本史15

那須町誌編さん委員会 1976『那須町誌』前編』

## 第2節 歴史的環境

那須地方の遺跡の発見は、渡辺龍瑞氏の踏査による成果が大きい。平成9年3月刊行の『栃木県埋蔵文化財地図』(栃木県教育委員会 1997)によると、那須町では281ヶ所の遺跡が確認され、そのうちの約81%に及ぶ229ヶ所が绳文時代を主体とする遺跡である。特に、渡辺氏の地元である伊王野周辺では多くの遺跡が確認されている。

境の明神遺跡については、県境付近を福島県が昭和46年(1971)と昭和51年(1976)に国道294号線拡張工事が行われ、また平成14年(2002)には、白河市教育委員会が国道294号線改修工事に伴い確認調査を行い報告書が刊行されている。国道の両側の平場を中心に調査し、遺構としては、土坑、溝跡、焼土遺構、建物礎石等が検出され、遺物は陶磁器、鉄製品、銭貨、鉄滓等が出土している。

平成5年(1993)の段階で、『白河市史資料編第4巻』の作成のため、遺跡周辺の表面調査が実施された。その結果、白河市から那須町の広範囲に、丘陵裾部に人工的な平場の存在が確認されたため、その重要性から平場の確認された範囲が「境の明神遺跡」として登録され、周知されるようになった。

今回の調査の原因になった本遺跡の前を国道294号線が通っており、那須町芦野へ寄居、境の明神を超えて福島県白河市へ至る道筋は、近世の奥州街道である。俳人松尾芭翁が『おくのほそ道』の中で、境の明神を通り白河の闇へ向かったことが、随行していた弟子の河合曾良の日記に記されている。また本遺跡東側の山を隔てた県道76号伊王野白河線は、近世以前の街道筋とされ、国指定史跡白河の関跡がある。源義經が東北地方へ逃れる際、通ったと言われ、古代東山道がこの付近を通っていた可能性がある。

奥州道中の前身は、鎌倉時代に成立した中路および奥大道(鎌倉街道)である。古代の陸奥は、「道の奥の国」と呼ばれ、現在の青森・岩手・宮城・福島を包括する広大な面積であった。近世の奥州道中の成立は、開ヶ原の戦いに勝利した徳川家康が五街道(東海道・中山道・甲州道中・奥州道中・日光道中)の整備を行い、奥州道中の整備は慶長7年(1602)から開始され、27の宿場が設置された。その道筋は、江戸日本橋を起点に陸奥国白河までとされた。下野国宇都宮以南の区間は、日光道中と共用されており、宇都宮宿伝馬町の追分で18番目の白沢宿方向へ分岐する。そこから27番目の白河宿までの約21里(84km)間が奥州道中

とされた。東山道や関街道と呼ばれた伊王野谷を通る道は副次的なものになり、かわって芦野が城下町として、また新街道の宿駅として江戸時代の経済の発展に伴い交通の要所として盛況を示した。中世以来の芦野氏が、この地域を領有したほかに、黒羽大閥氏が寺子や豊原、湯元といった現在の那須町北部を領有した。南部の伊王野地域は伊王野氏の斬鉈後、天領となった。

明治維新後、徳川直轄領だった伊王野は真岡県に属し、芦野領は日光県の所属になった。のちに両県は合併して日光県になり、廃藩置県で黒羽藩は黒羽県となった。その後、日光県は他の5県（旧5藩）とともに栃木県になり、黒羽県は他の4県（旧4藩）と宇都宮県になった。1873（明治6）年に両県が合併し栃木県となり、おおよそ今日の県域となった。

現在の那須町は昭和29（1954）11月に那須村、芦野町、伊王野村が合併して誕生した。

#### 参考文献

栃木県教育委員会 2011 『栃木県歴史の道調査報告書2』 日光例幣使街道 奥州道中

栃木県教育委員会 1997 『栃木県埋蔵文化財地図』

那須町誌編さん委員会 1976 『那須町誌 前編』

## 第3章 発見された遺構と遺物

### 第1節 遺構の概要

1区は福島県白河市との県境から約20mまでが調査範囲で、調査区でもっとも標高の高い位置にある。県境には白河藩との境に建つ「従是北白川領」の石柱が立ち、往時の奥州街道をしのばせている。発見された遺構は、土坑が3基と柱跡2基である。遺構確認面は灰白色の岩盤状の面である。

2区は斜面もため遺構の検出は無かった。1区の遺構確認面は灰白色の岩盤であったが、2区の斜面に落ちる所からほぼ垂直に削られていた。

3区からは、住居跡が1軒発見された。

4区は、3区から一段下がった平坦地で、柱跡1基と柱の基礎石と考えられる平坦な疊が1箇所発見された。この柱跡から南側からは遺構を検出する事は出来なかった。

5区からは、表土を除去した箇所からの遺構の検出は無かった。また、調査区の一番南側にあたる家の箇所は、出入りをする箇所を除いて調査区とした。北側は深さ約0.5m前後まで掘削したが、遺構は検出できなかった。また、南側調査区内では地表面から約0.2mの位置に配水管が敷設しており、調査をすることは出来なかった。また、道の反対側の調査箇所では、道際に建物が建てられ深くまで掘りさげられており、遺構は確認できなかった。

### 第2節 発見された遺構と遺物

#### 1区

SK-06（第4・16・20・21図 第1表 図版二）

調査区の一番北側に位置している。長径1.0m、短径は調査区の外になるため不明であるが、北側の測定できる箇所で0.55m、深さ0.15mを測る。覆土は1層で、自然堆積と考えられる。遺物は、椀が1点と鉄製品出土している。椀は、底面から約0.05mの位置に口縁を下にした状態で出土している。完形で内面、外面と

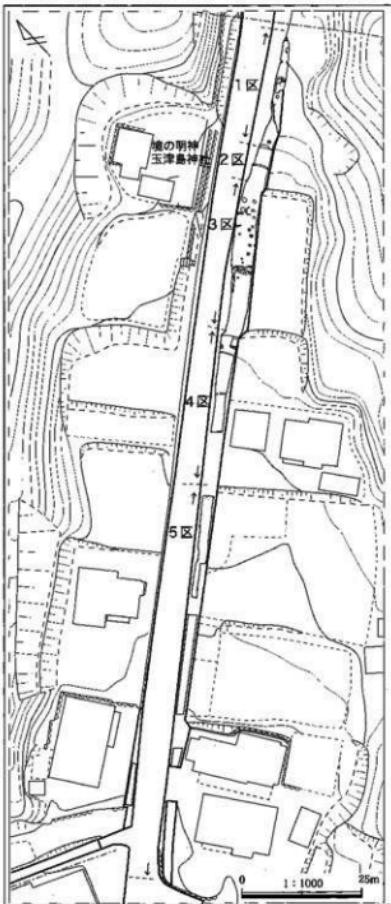
ものに漆が付着している。漆は、外面は下半に内面は全面に見られる。

鉄製品は4点が図示できた。釘が2点、取っての輪と考えられる鉄製品1点、不明鉄製品が1点である。

SK-07 (第4・7・8・9・10・11・13・15・16・17・18・19・20・22・24図 図版二)

不整形を呈しており、残存する長径は3.5m、短径2.3m、深さ0.12mを測る。覆土は1層で、炭化物を多量に含んでいる。この場所で人為的に焼かれた可能性が高い。

遺物は、陶磁器、鉄製品、土製品、石製品が出土している。図示出来たものは、陶磁器は16点、鉄製品28点、土製品2点、砥石3点である。また、寛永通宝も出土している



第2図 発掘調査箇所

陶磁器は、壺蓋、丸楕、皿、小丸楕、御酒徳利、徳利、土瓶、半廻甌、擂鉢、鉢などで、产地は肥前系と考えられるものが多いが、在地系と考えられるものも出土している。内耳土器も出土しており、在地系と考えられる。深さが浅い形状である。鉄製品は、釘が9点、小刀1点、U字形製品1点、刀子1点、留金具1点、板状品2点、利器1点、長方形板状品1点、不明板状製品8点、不明製品6点である。土製品は大黒天と土鉢のねずみが各1点である。

SK-08 (第4図 図版二)

円形の土坑で直径0.7m前後、深さ0.12mを測る。覆土は1層で自然堆積である。中央から礫が出土しているが、遺物の出土は無かった。

P-01 (第4図)

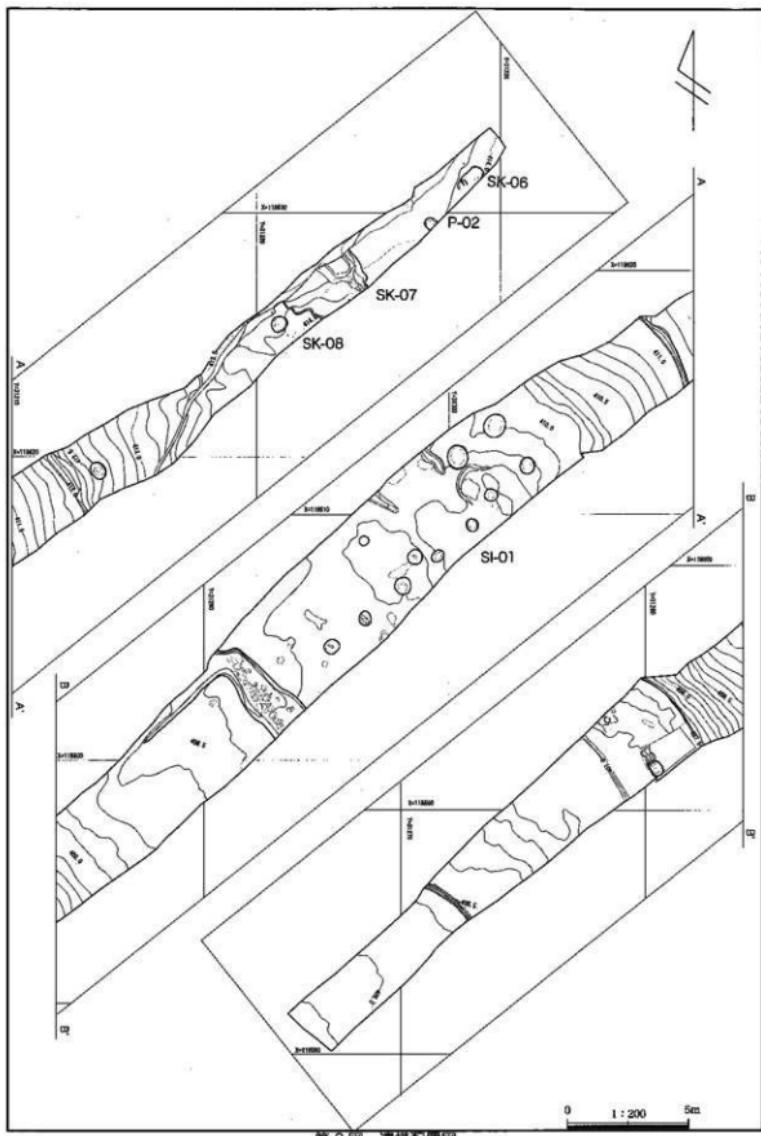
柱跡と考えられ、円形で、直径0.42～0.38m、深さ0.8mを測る。SK-06と重複しており。P-01が古い。底面に厚さ10cmの扁平な礫が3個置かれている。

P-02 (第4図 図版二)

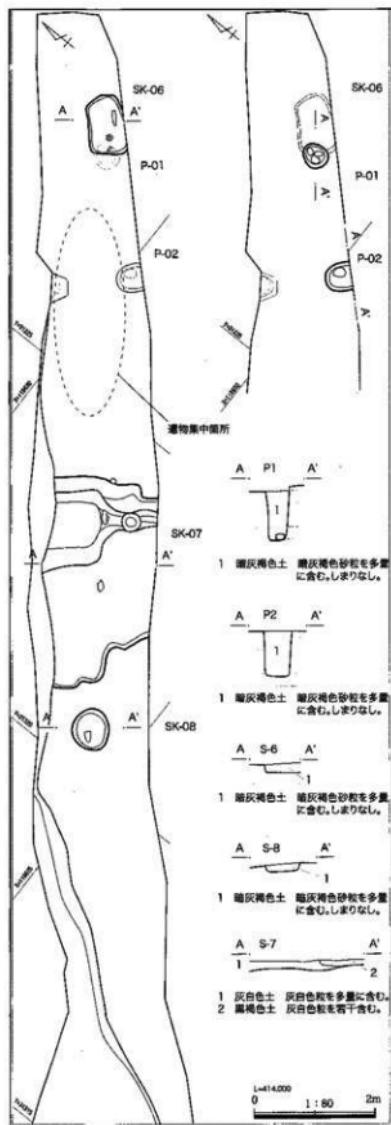
柱跡と考えられ、円形と考えられるが、南東側が調査区外に出ている。直径0.46m、深さ0.7mを測る。底面に扁平な礫が置かれている。

1区出土遺物 (第7・8・9・10・11・12・13・14・15・16・17・18・19・20・21・22・23図、第1・2・3・4、第1表)

表土除去時に出土した遺物のうち、図示できたものは、陶磁器45点、鉄製品13点、銅製品2点、土製品1点、砥石1点である。陶磁器は、楕、皿、筒形楕、湯呑楕、徳利、蓋、擂鉢、灯明皿、かわらけなど多種にわたっており、在地系が多く見られる。



第3図 遺構配図



第4図 遺構平面図(1)

金属製品は、銅製品の大黒天1点、釘13点、釘と考えられるもの1点、鎌1点、火打金1点、板状製品1点、不明板状品1点、不明製品2点、不明品1点、タガネと考えられるもの1点、不明金具1点、煙管の雁首の火皿1点、煙管雁首の基部1点、煙管の吸い口1点である。

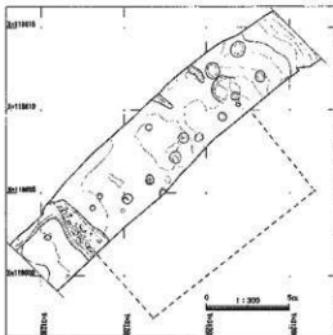
2区(第7・8・9・10・11・13・16・19・21・22・23図)

遺物は重機による表土除去時に多数出土している。図示出来たものは、陶磁器14点、金属製品は、銅製かんざし1点、釘1点、不明板状品2点、獅子形の土製品1点、石臼1点である。陶磁器は皿、椀、丸碗、小丸碗、筒形椀、壺反椀、仏飯器、擂鉢、瓦質火鉢などである。

## 3区

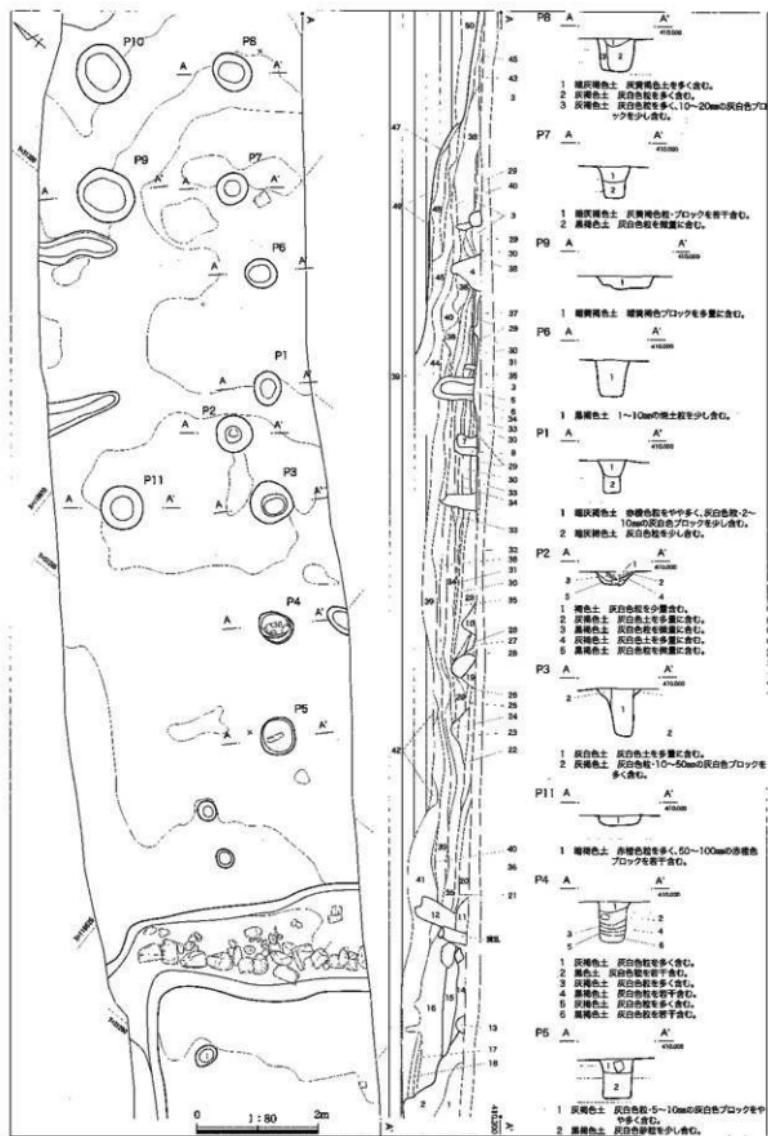
## SI-01(第5・6図、第1表 図版三)

3区からは、住居跡SI-01が発見された。住居跡は、街道に対して平行に建てられていた。街道に面した箇所は、現国道により削平されている。礫で囲まれて作られていたと考えられ、南側は礫が並んで検出できたが、北側は耕作により礫の大部分が無くなっている。セクション面の観察により、礫の並んでいたと思われる場所は確認出来た。この礫の間は約7.0m前後で、固く締まった土間状の床と考えられる硬化面がみられた。床面は灰黄色土を多量に含む土層で、その上面からは、寛

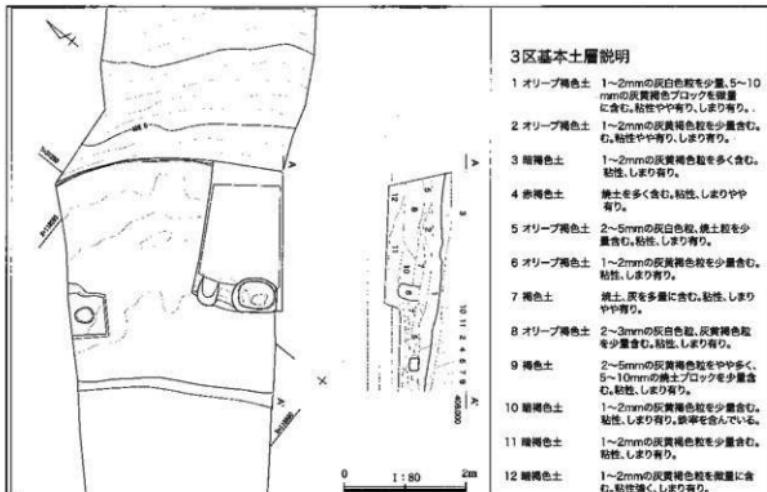


第5図 住居跡範囲推定図

## 第2節 発見された遺構と遺物



第6図 遺構平面図(2)



7図 遺構平面図(3)

SI-01 土層説明

- |          |                                     |          |                                    |
|----------|-------------------------------------|----------|------------------------------------|
| 1 緑色土    | 灰白色粒を若干、1~2mmの明るい白色粒を微量含む。          | 26 灰褐色土  | 1~2mmの灰白色粒を少量、10mm前後の灰白色ブロックを微量含む。 |
| 2 黄褐色土   | 1~2mmの灰白色粒を少量、5mm前後の緑色粒を微量含む。(透土)   | 27 灰褐色土  | 20~30mmの灰黄褐色粒を微量含む。                |
| 3 緑色土    | 1~2mmの灰白色粒を少、5mm前後の緑色粒を微量含む。        | 28 黒褐色土  | 1~2mmの灰白色粒を微量含む。                   |
| 4 緑色土    | 20~30mmの灰白色ブロックを微量含む。               | 29 黄褐色土  | 灰黄褐色粒を多量、10~50mmの灰黄褐色粒を微量含む。       |
| 5 緑褐色土   | 1~2mmの灰白色粒少、5mm前後の緑色粒を微量含む。         | 30 黒褐色土  | 灰黄褐色粒をやや多量含む。                      |
| 6 灰白色土   | 灰白色粒を多量含む。                          | 31 灰褐色土  | 灰白色粒を若干含む。                         |
| 7 灰褐色土   | 1~2mmの灰白色粒多量、20~30mm灰白色ブロックを微量含む。   | 32 黒褐色土  | 灰白色粒を微量含む。                         |
| 8 灰白色土   | 1~2mmの灰白色粒多量、20~30mm灰白色ブロックを微量含む。   | 33 灰褐色土  | 灰白色粒を若干含む。                         |
| 9 灰褐色土   | 1~2mmの灰白色粒多量、20~30mm灰白色ブロックを微量含む。   | 34 反対褐色土 | 灰黄褐色土多量、10~20mmの灰黄褐色土ブロックを微量含む。    |
| 10 緑褐色土  | 灰白色粒を微量含む。                          | 35 黒褐色土  | 灰白色粒を微量含む。                         |
| 11 黒褐色土  | 灰白色粒を若干含む。                          | 36 灰褐色土  | 灰白色粒をやや多量含む。                       |
| 12 緑褐色土  | 灰白色粒を多量、10~50mmの灰白色ブロックを若干含む。       | 37 黒褐色土  | 10mm前後の灰白色粒を微量含む。                  |
| 13 黒褐色土  | 2~3mmの灰白色粒を微量含む。                    | 38 灰褐色土  | 灰白色粒、5~10mmの灰白色ブロックを微量含む。          |
| 14 明黄褐色土 | 灰黄褐色土粒を若干含む。                        | 39 黒褐色土  | 灰白色粒を微量含む。                         |
| 15 明黄褐色土 | 灰白褐色土粒を微量含む。                        | 40 灰褐色土  | 灰白色粒を微量含む。                         |
| 16 遊葉褐色土 | 1mm前後の灰白色粒を若干含む。                    | 41 暗褐色土  | 灰白色粒・ブロックを微量含む。                    |
| 17 墓灰褐色土 | 灰白色粒を少量含む。                          | 42 黒土    | 灰白色粒を微量含む。                         |
| 18 灰白色土  | 灰白色土主体、灰黄褐色土を若干含む。                  | 43 暗褐色土  | 1mm前後の灰白色粒を微量含む。                   |
| 19 黒褐色土  | 灰黄褐色土をやや多量含む。                       | 44 灰褐色土  | 灰白色粒を少量含む。                         |
| 20 黒褐色土  | 1mm前後の灰白色粒を多量、10~50mmの灰白色ブロックを微量含む。 | 45 黑褐色土  | 灰白色粒を微量含む。                         |
| 21 灰白色土  | 灰白色土を主体とする。                         | 46 黑褐色土  | 1~10mmの灰白色粒を少量含む。                  |
| 22 黒褐色土  | 反対褐色土を多量含む。                         | 47 黑褐色土  | 灰白色粒を多量含む。                         |
| 23 黑褐色土  | 灰白色ブロック・粒を多量含む。                     | 48 暗褐色土  | 1~2mmの灰白色粒を微量含む。                   |
| 24 灰黄褐色土 | 灰黄褐色土を主体とする。                        | 49 黑褐色土  | 10~20mmの灰白色ブロックを微量含む。              |
| 25 灰黄褐色土 | 灰黄褐色土を多量、10~20mm灰白色ブロックを若干含む。       | 50 黑褐色土  | 1~5mmの灰白色粒を若干含む。                   |

3区基本土層説明

- オリーブ褐色土 1~2mmの灰白色粒を少量、5~10mmの灰黄褐色ブロックを微量に含む。粘性やや有り、しまり有り。
- オリーブ褐色土 1~2mmの灰黄褐色粒を少量含む。粘性やや有り、しまり有り。
- 緑褐色土 1~2mmの灰黄褐色粒を多く含む。粘性、しまり有り。
- 赤褐色土 粘土を多く含む。粘性、しまりやや有り。
- オリーブ褐色土 2~5mmの灰白色粒、鐵土粒を少量含む。粘性、しまり有り。
- オリーブ褐色土 1~2mmの灰黄褐色粒を少し含む。粘性、しまり有り。
- 褐色土 粘土、皮を多量に含む。粘性、しまりやや有り。
- オリーブ褐色土 2~3mmの灰白色粒、灰黄褐色粒を少量含む。粘性、しまり有り。
- 褐色土 2~5mmの灰黄褐色粒やや多く、5~10mmの粘土ブロックを少量含む。粘性、しまり有り。
- 緑褐色土 1~2mmの灰黄褐色粒を少量含む。粘性、しまり有り、鉄土を含んでいる。
- 緑褐色土 1~2mmの灰黄褐色粒を微量含む。粘性、しまり有り。
- 緑褐色土 1~2mmの灰黄褐色粒を微量に含む。粘性強く、しまり有り。

永通宝が出土している。また、セクション面からは、柱が抜かれた痕跡や、柱痕の残る柱跡を確認することができた。

住居跡には柱穴が5基（P-1、3、4、5、6）並んだ状況で検出できた。

P-1は、若干楕円形で直径0.45m前後、深さ0.55mを測る。P-3は、ほぼ円形で直径0.38m、深さ0.75mを測る。土層の状況から、柱が抜かれた可能性が考えられる。P-4は、若干楕円形で直径0.55m前後、深さ0.70mを測る。層位は黒色度灰白色土を多く含んだ土層が版築状になっており、2層からは、礫が4個含まれていた。P-5は、ほぼ円形で直径0.55m、深さ0.66mを測る。第1層からはP-4と同様に礫が出土している。P-6は、若干楕円形で直径0.55m前後、深さ0.6mを測る。

住居跡内からは、柱穴の他に土坑が2基検出できた。P-2は、ほぼ円形で直径0.6m前後、深さ0.22mを測る。P-11若干楕円形で直径0.45m前後、深さ0.55mを測る。

住居跡から出土した遺物で図示できたものは、陶磁器15点、金属製品は、釘3点、不明円筒品1点、吊り金具1点である。

北側、南側ともに住居の大部分が調査区外に出ているが、調査区外の耕作面をピンポールで刺したところ、第6図のように、南側で調査区から5.4m、北側で調査区から6.2mまで伸びていることが確認でき、住居の範囲の一部を推定することができた。

3区出土遺物（7・8・9・10・11・12・13・14・15・16・17・18・19・20・21・24、第1・2・4表）

表土除去時に出土した遺物のうち、図示出来たものは、陶磁器31点。金属製品は、釘14点、釘と考えられる金属製品8点、不明鉄製品4点、不明板状品2点、鉤状品1点、和銛1点。銅製品は、煙管雁首1点、煙管火皿部1点、煙管吸い口2点、毛抜き1点、環1点、ボタン状製品1点、砥石1点である。

#### 4区（第7図）

4区は黒色土が厚く堆積しており、遺構の確認が難しかったが、一部を深掘りして柱跡を検出する事ができた。柱跡は底部に礫が置かれており、別の柱跡と重複していた。この深堀で遺構の土層の確認ができたため、他の箇所を丁寧に削平して遺構の検出を試みたが、他に遺構を検出することは出来なかった。

4区からは、遺物が多数出土しているが、特出することは、寛永通宝が集中して出土したことである。寛永通宝は、柱の基礎石と考えられる平坦な礫から東に約0.4mの位置から出土した。

4区の出土遺物で図示できたものは、陶磁器21点、金属製品は、釘23点、釘と考えられる鉄製品13点、不明鉄製品9点、環状製品1点、刀子1点、板状品3点、長方形板状品1点、鉤状品3点、鉄滓1点である。図示していないが、鉄滓が多量に出土している。



第8図 陶磁器実測図(1)



第9図 陶磁器実測図（2）



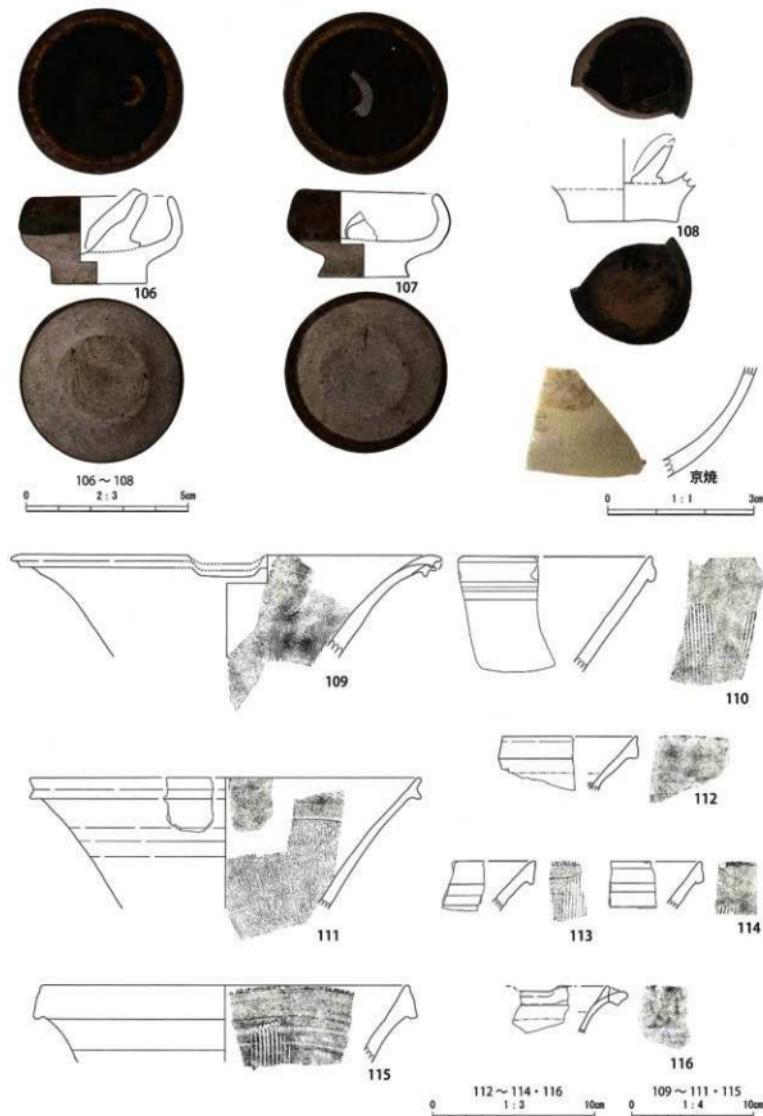
第10図 陶磁器実測図(3)



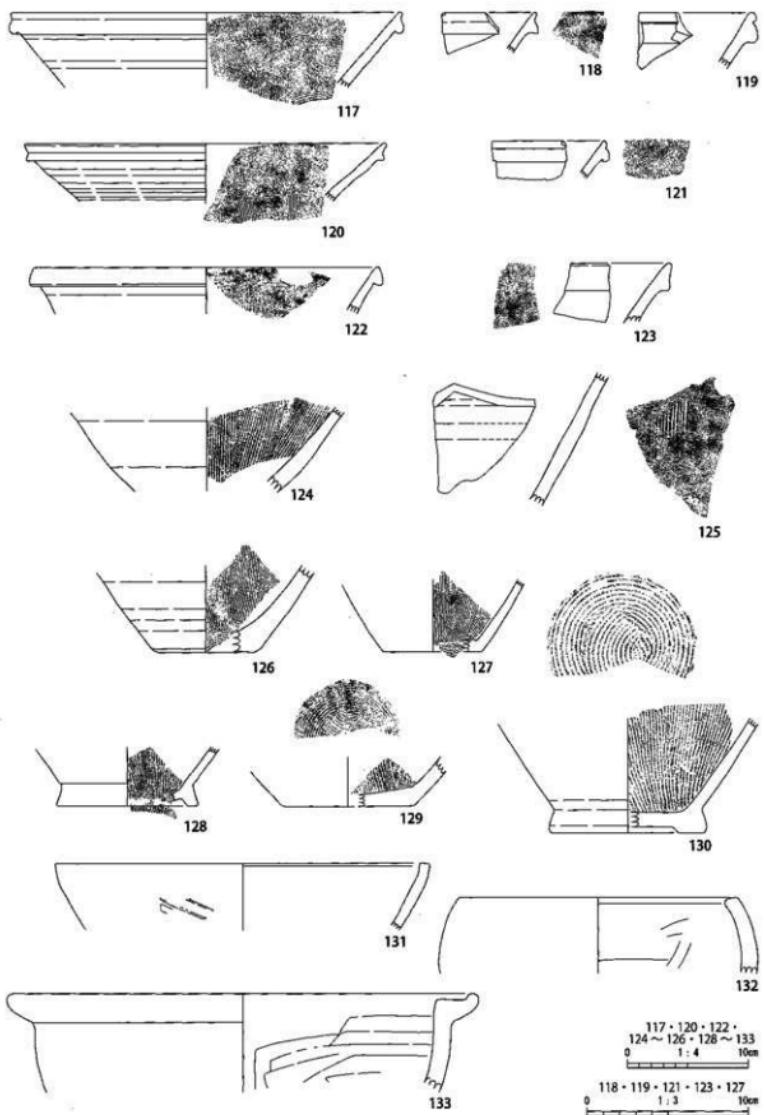
第11図 陶磁器実測図 (4)



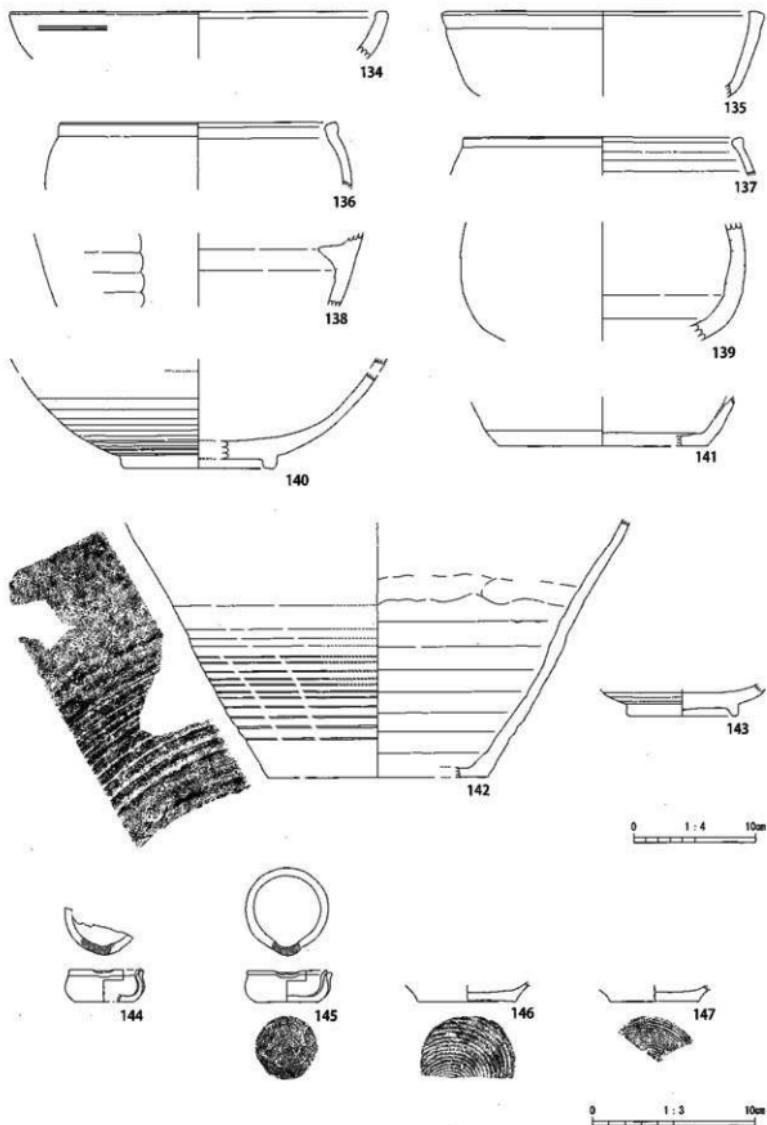
第12図 陶磁器実測図(5)



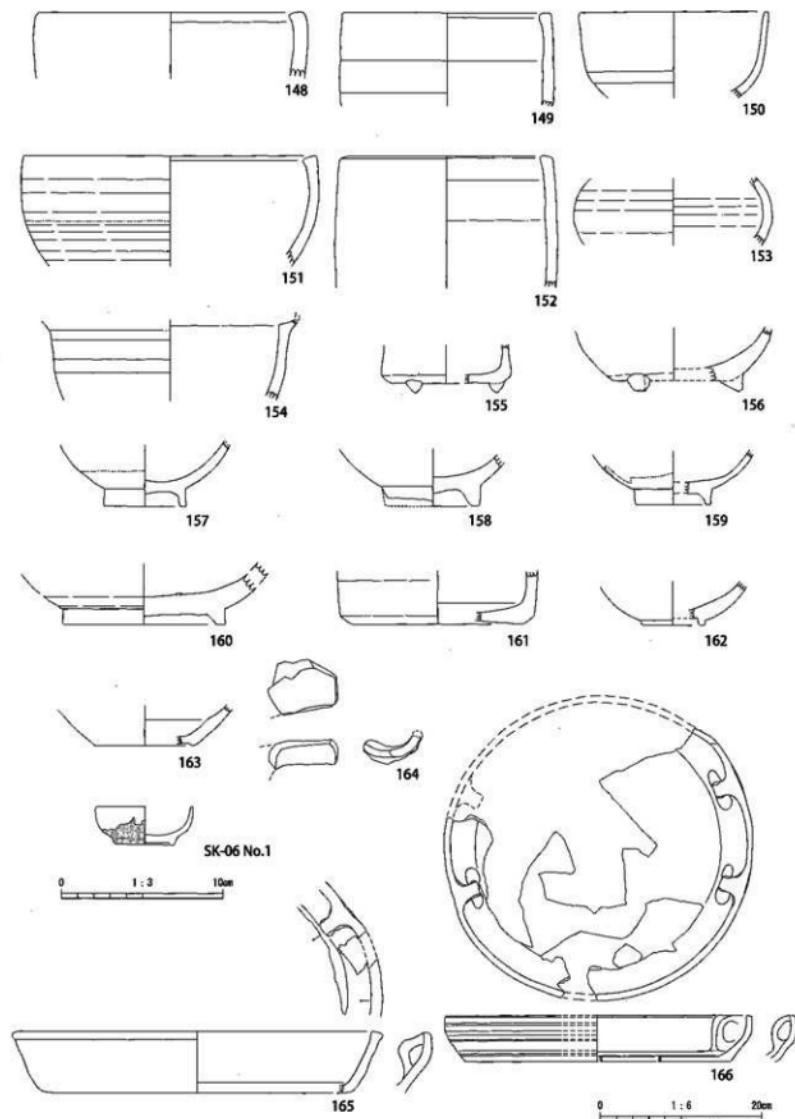
第13図 陶器実測図(6)



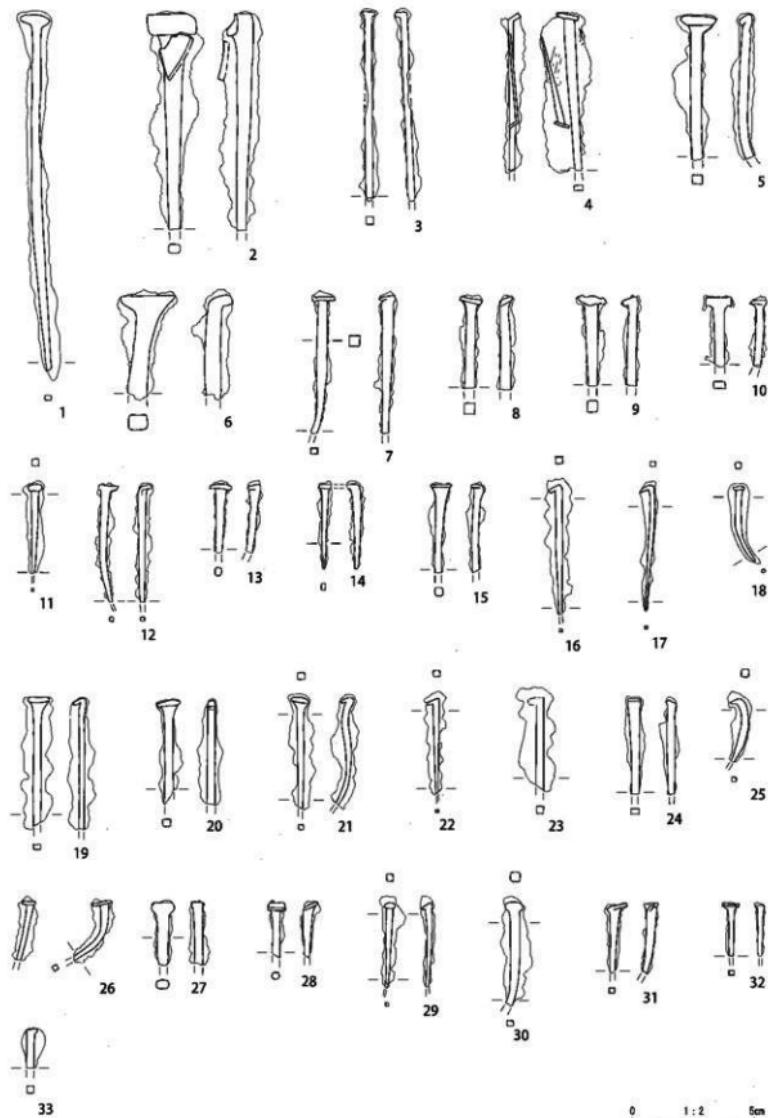
第14図 陶磁器実測図(7)



第15図 陶磁器実測図 (8)

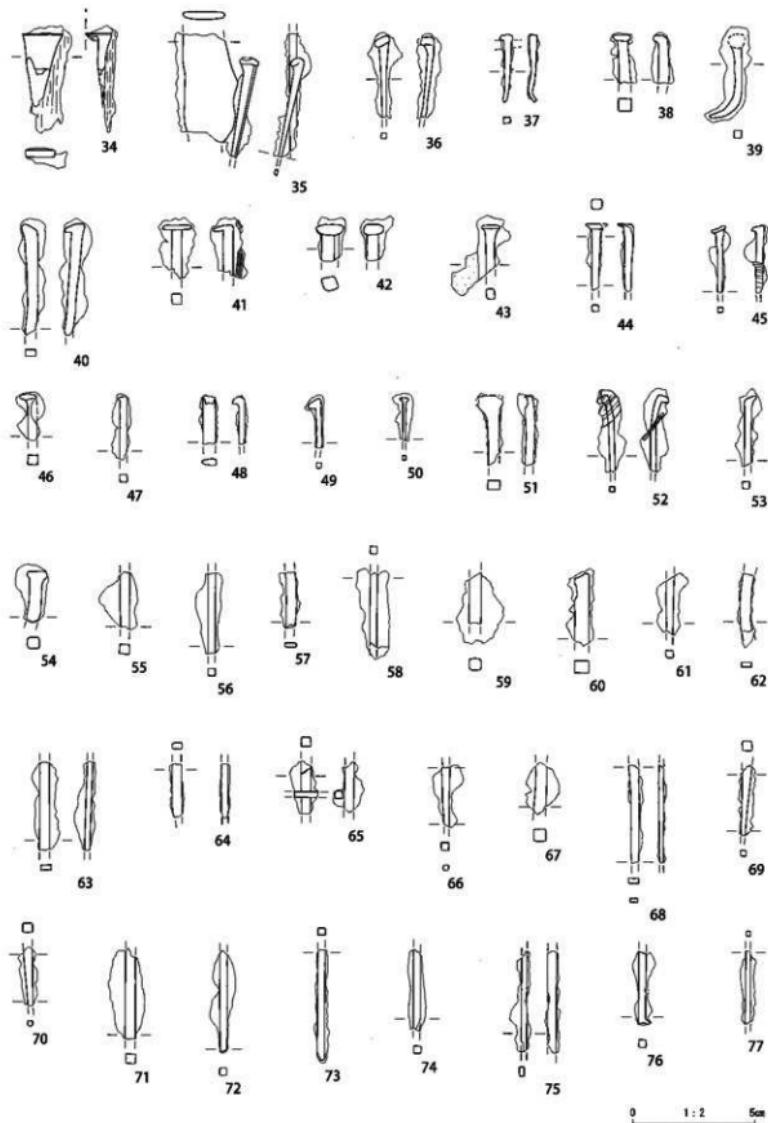


第16図 陶磁器実測図(9)

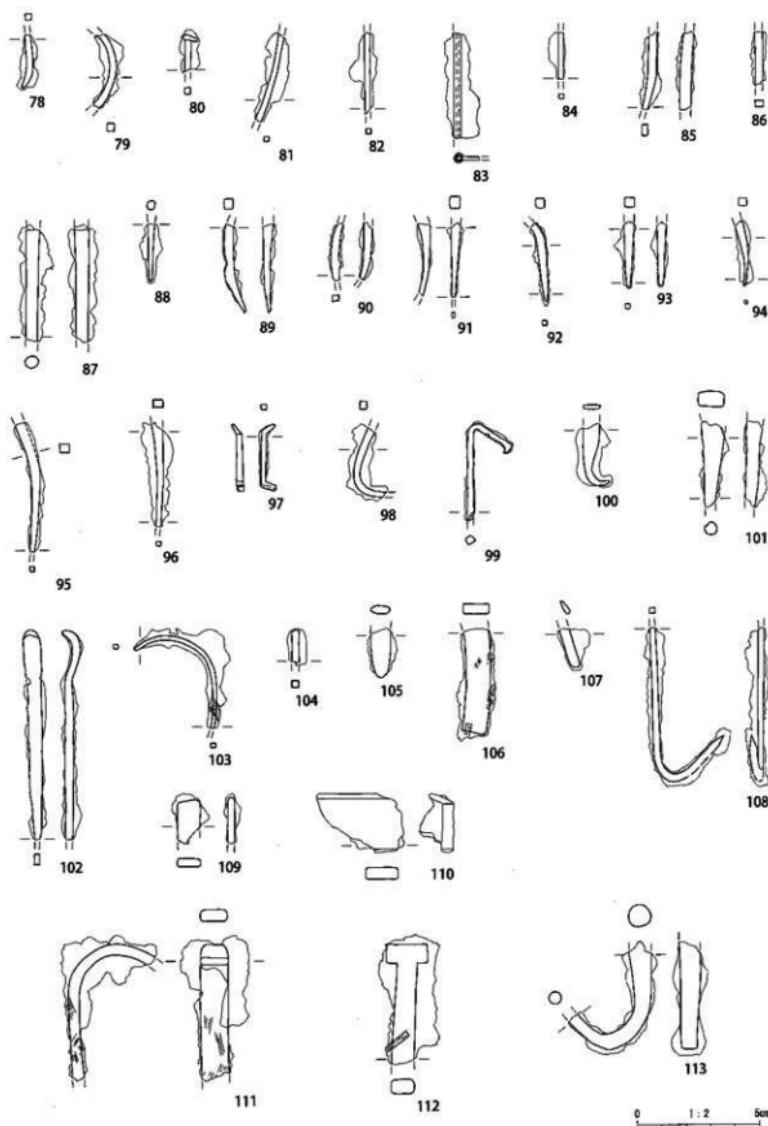


第17図 鉄製品実測図(1)

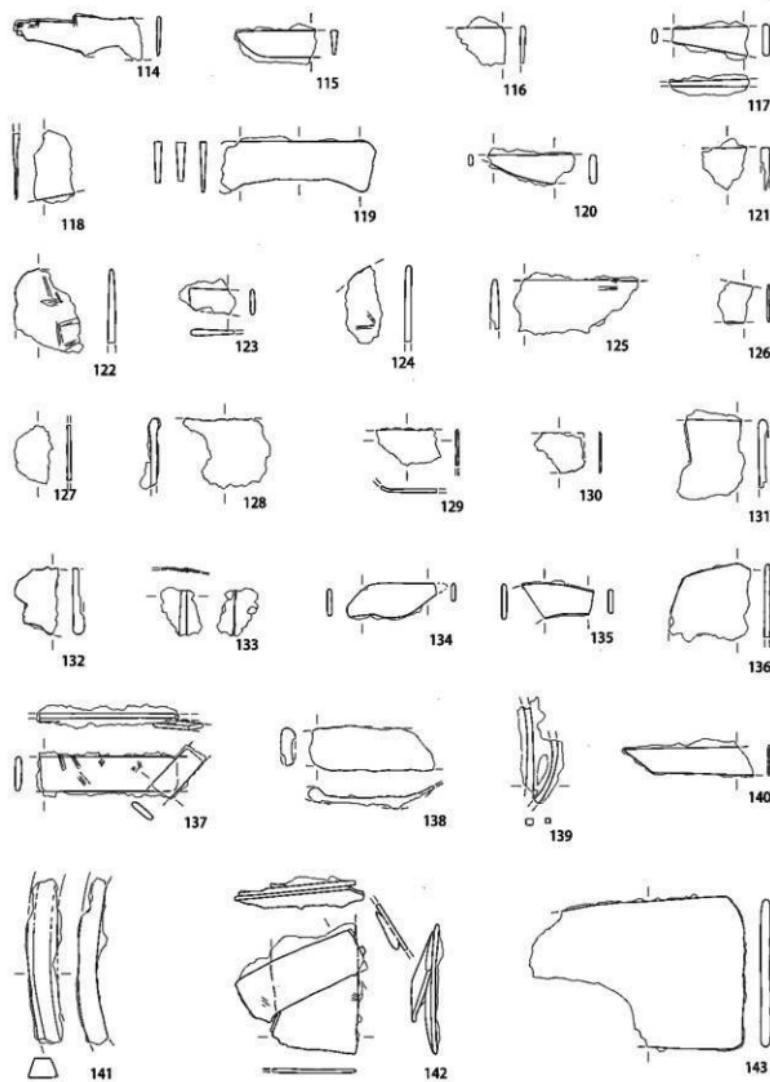
0 1:2 5cm



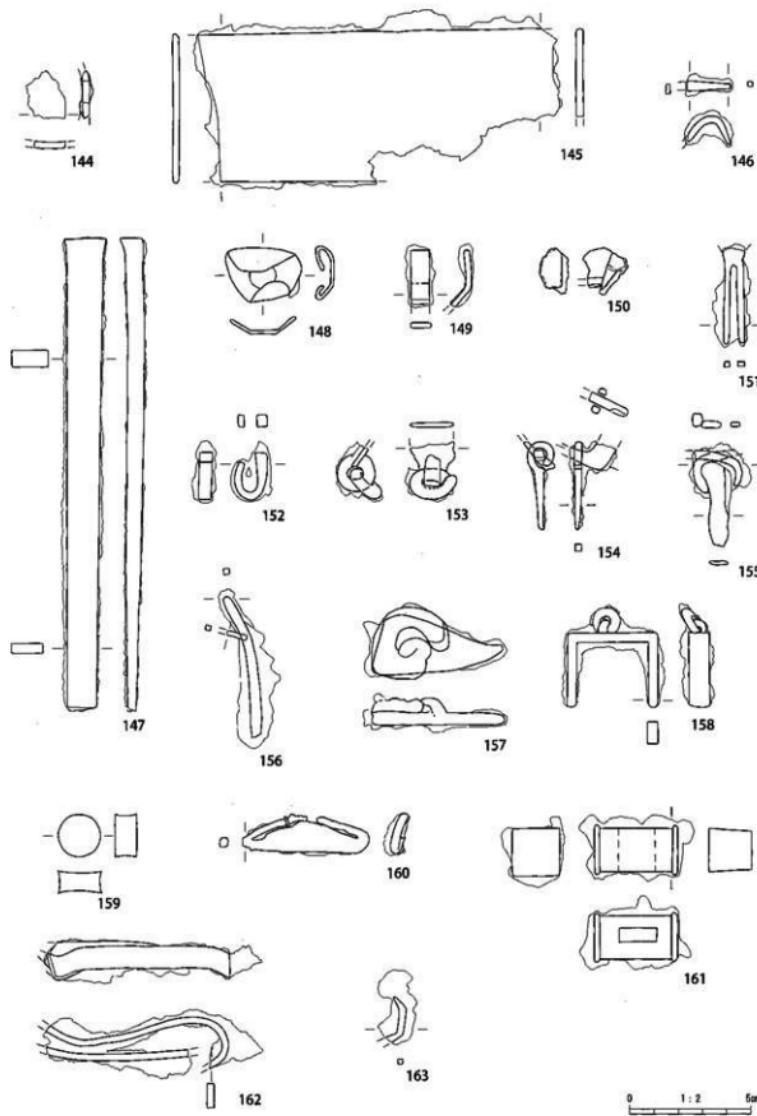
第18図 鉄製品実測図(2)



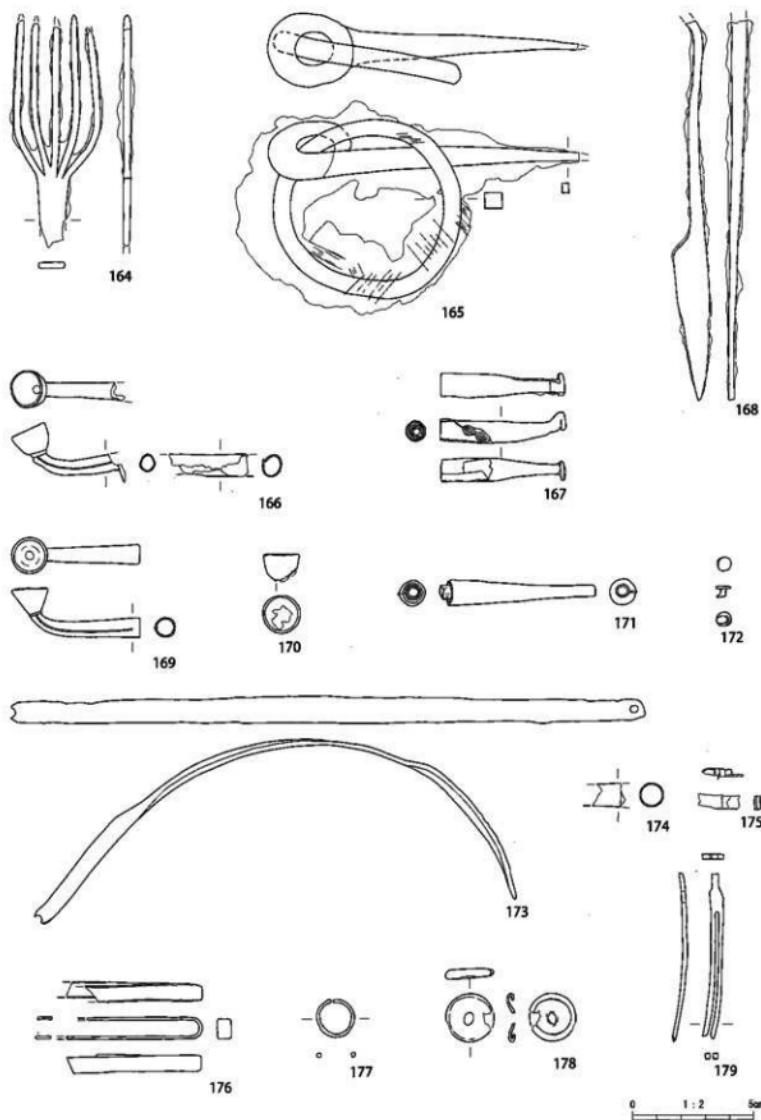
第19図 鉄製品実測図(3)



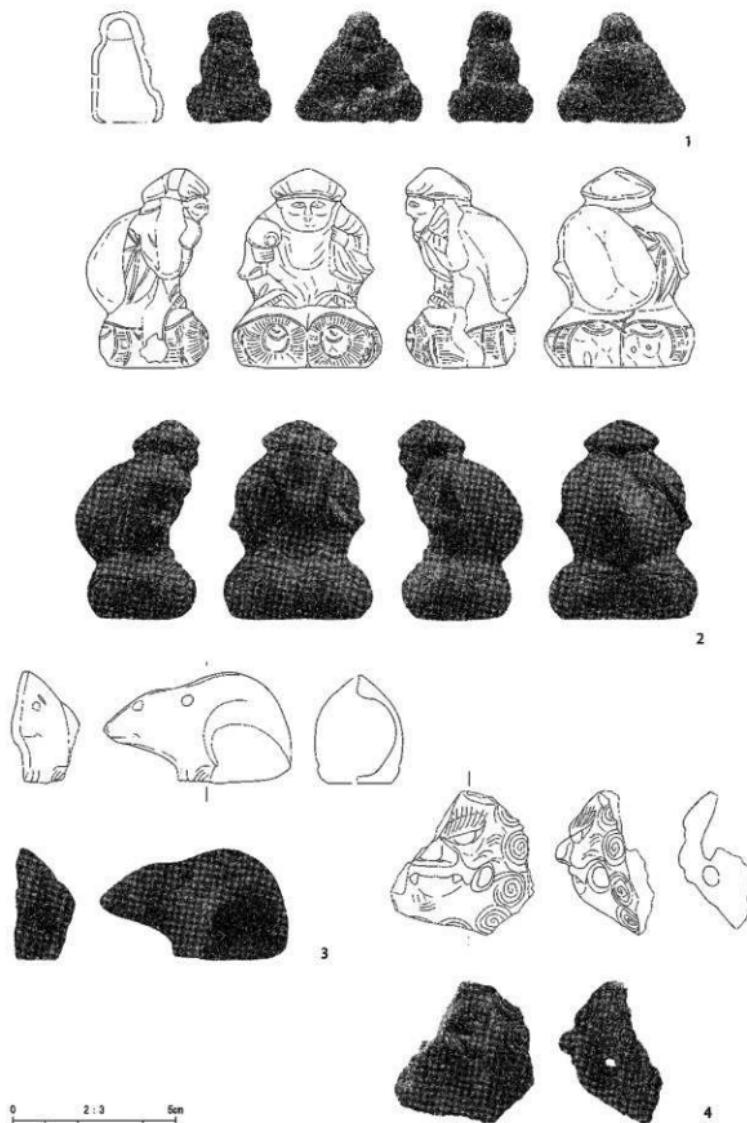
第20図 鉄製品実測図(4)



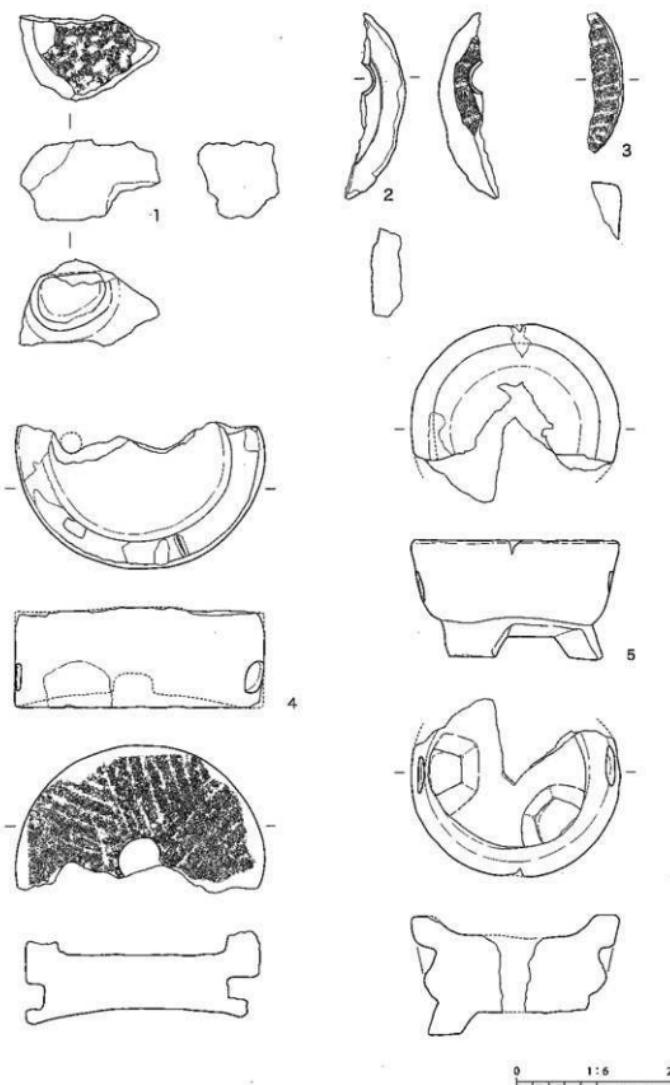
第21図 鉄製品実測図(5)



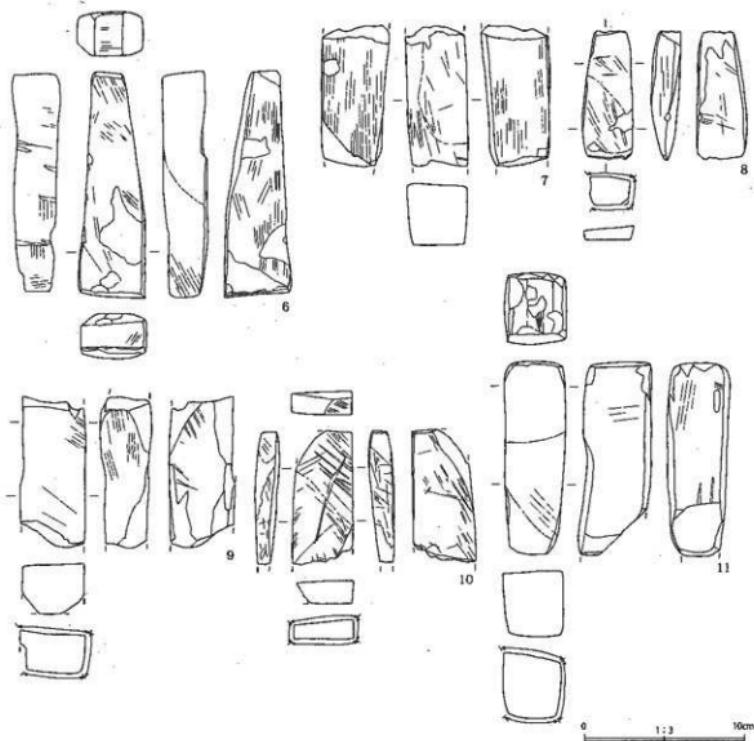
第22図 鉄製品実測図(6)



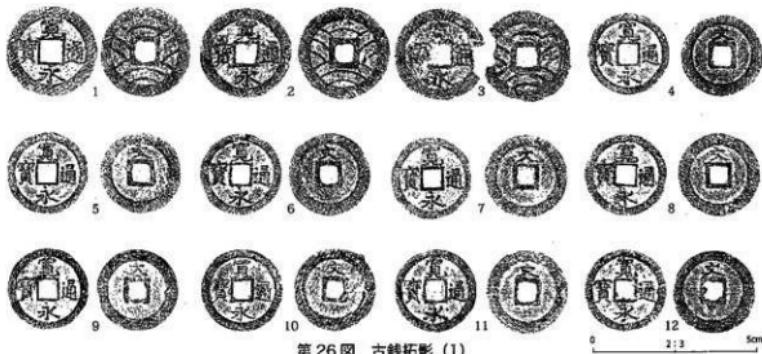
第23図 金属・土製品実測図



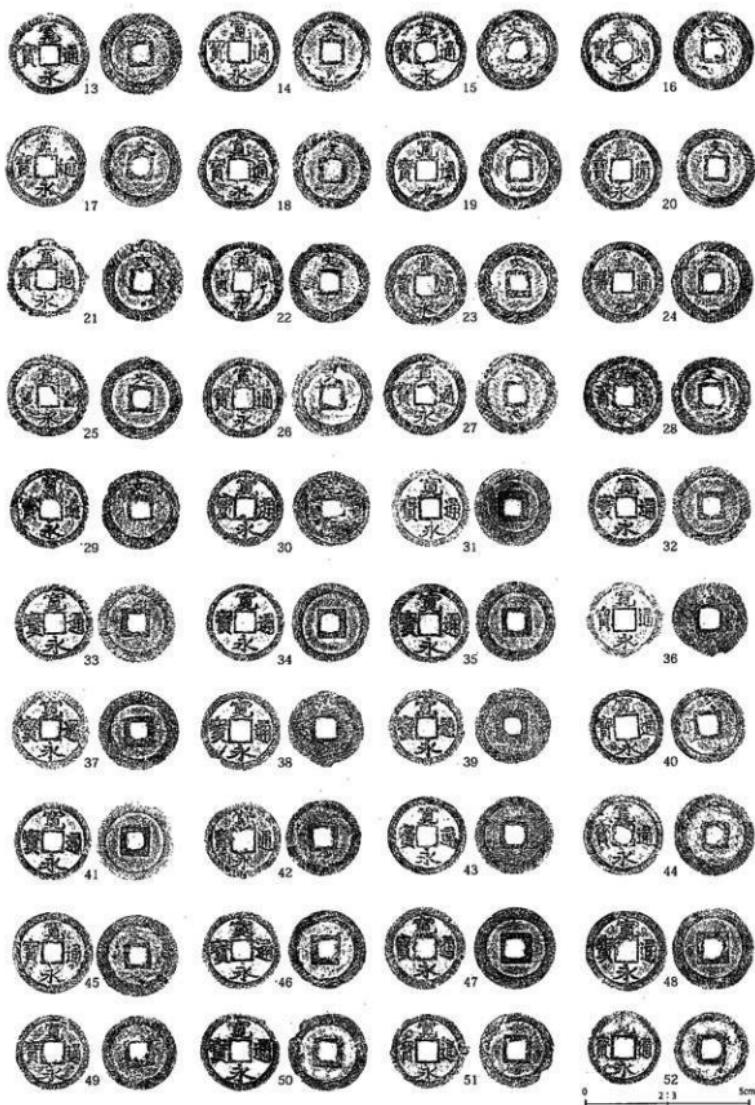
第24図 石製品実測図(1)



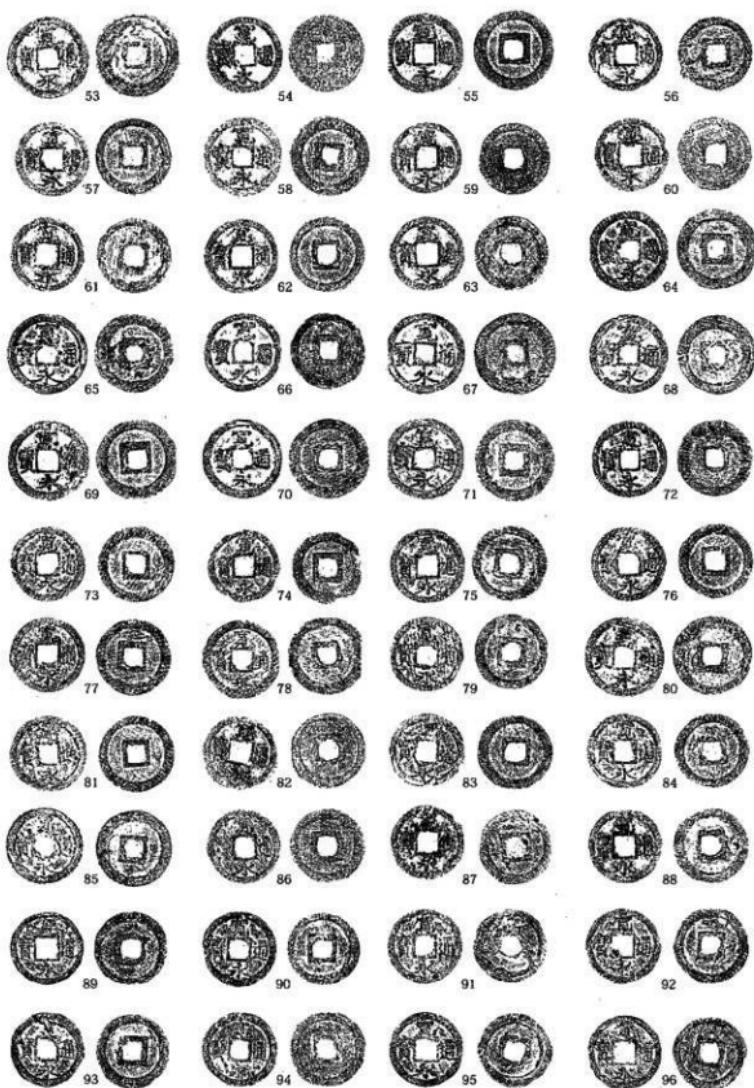
第25図 石製品実測図(2)



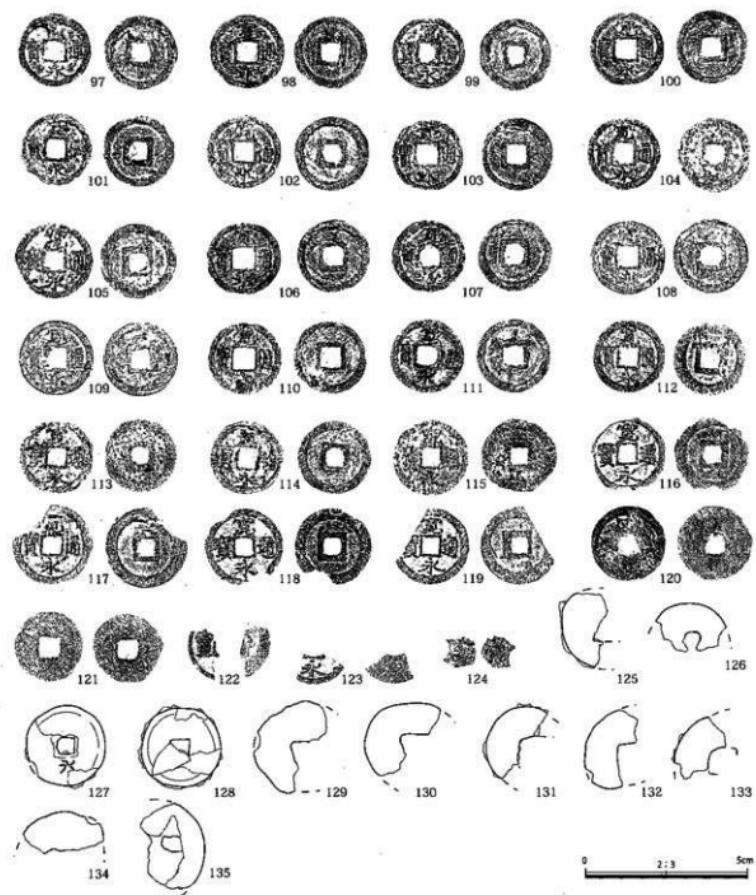
第26図 古銭拓影(1)



第27図 古銭拓影（2）



第28図 古銭拓影(3)



第29図 古銭拓影 (4)

第1表 陶磁器観察表

| No. | 器種     | 口径(cm) | 底径(cm) | 高さ(cm) | 技法・文様等(内面/外面/高台内)                | 產地等    | 残存                   | 出土地           | 備考               |
|-----|--------|--------|--------|--------|----------------------------------|--------|----------------------|---------------|------------------|
| 1   | 磁器丸瓶   | -      | 4.2    | 残2.1   | 内 透明釉/外 透明釉/底 高台無輪。初期<br>伊万里様式。  | 肥前系    | 底: 完存                | 5区            | 1640~1650年代      |
| 2   | 磁器丸瓶   | (9.6)  | -      | 残4.0   | 外 染付、一重綱目文。                      | 肥前系    | 口: 1/4以下             | 4区            | 17~18世紀          |
| 3   | 磁器壺蓋   | (10.3) | -      | 残1.9   | 外 染付、圓線・草花文。波打あり。                | 肥前系    | 口: 1/4以下             | 1区SK-7        | 17世紀後半           |
| 4   | 磁器丸瓶   | -      | (3.0)  | 残2.4   | 外 染付、兩花文か。                       | 肥前系    | 底: 1/4以下             | 4区N-1下        |                  |
| 5   | 磁器丸瓶   | -      | (4.4)  | 残3.3   | 外 染付、圓線・二重綱目文。くらわんか手。            | 肥前系    | 底: 1/4以下             | 4区            | 18~19世紀          |
| 6   | 磁器丸瓶   | -      | (5.0)  | 残3.8   | 外 染付、圓線・格子文に鑿み。                  | 肥前系    | 体: 1/4以下<br>底: 1/2以下 | 3区SI-01       |                  |
| 7   | 磁器丸瓶   | (9.6)  | (4.2)  | 残4.3   | 外 染付、梅樹文。                        | 肥前系    | 口: 1/4以下             | 2区表探          | 18~19世紀          |
| 8   | 陶器染付丸瓶 | -      | 4.6    | 残3.1   | 外 圓線、貢入あり。                       | 肥前系    | 底: 3/4               | 5区            | 17世紀末~<br>18世紀前半 |
| 9   | 磁器丸瓶   | (10.0) | -      | 残4.4   | 外 染付、梅樹文。                        | 肥前系    | 体: 1/4               | 2区表探          |                  |
| 10  | 陶器染付丸瓶 | -      | 5.0    | 残4.1   | 外 染付、山水文、貢入あり。                   | 肥前系    | 底: 完存                | 3区            | 17世紀末~<br>18世紀前半 |
| 11  | 磁器丸瓶   | (11.0) | -      | 残5.0   | 内 染付、圓線/外 丸文・圓線。                 | 肥前系    | 口~体: 1/4<br>以下       | 1区SK-7        | 18世紀末~<br>19世紀中葉 |
| 12  | 陶器染付丸瓶 | -      | (4.5)  | 残3.2   | 外 染付、圓線、貢入あり。                    | 肥前系    | 底: 1/3               | 4区N-1下        | 17世紀後半~<br>18世紀初 |
| 13  | 磁器丸瓶   | (11.2) | -      | 残4.4   | 内 染付、圓線/外 丸文・圓線。                 | 肥前系    | 口: 1/4以下             | 3区            | 18世紀末~<br>19世紀中葉 |
| 14  | 磁器丸瓶   | (10.0) | (4.3)  | 6.2    | 外 染付、梅樹文。                        | 肥前系    | 口~底: 1/4<br>以下       | 2区            | 18世紀~19世紀        |
| 15  | 磁器丸瓶   | -      | (5.1)  | 残2.0   | 外 染付、高台内外圓線。くらわんか手。              | 肥前波佐見系 | 底: 1/2以下             | 4区            | 18世紀前半           |
| 16  | 磁器皿    | (14.2) | -      | 残3.7   | 内 染付・漬み/外 草木文か。くらわんか手。           | 肥前系    | 口: 1/6以下             | 6区            | 18世紀の末<br>~中葉    |
| 17  | 磁器皿    | -      | -      | 残1.4   | 外 圓線。                            | 肥前系    | 底: 1/2以下             | 3区            |                  |
| 18  | 磁器皿    | (13.0) | 7.6    | 最大3.9  | 内 染付・漬み。草花文、底部五弁花/外 梅樹文。くらわんか手。  | 肥前系    | 口~底: 1/2             | 1区・2区         | 18世紀             |
| 19  | 磁器皿    | -      | (9.6)  | 残4.6   | 内 染付、扇面文・圓線/外 唐草文か。              | 肥前系    | 体~底: 1/4<br>以下       | 1区            | 18世紀             |
| 20  | 磁器皿    | (9.0)  | (5.4)  | 1.8    | 内 染付、雪輪梅樹文/外 体部草文・圓線、底部波紋文。      | 肥前系    | 口~底: 1/4<br>以下       | 3区・3区<br>No.1 | 18~19世紀          |
| 21  | 磁器皿    | -      | (8.9)  | 残3.2   | 内 染付/外 体部圓線、底部 鞭刺引き蛇の目           | 肥前系    | 底: 1/6以下             | 1区            | 1690~1780年代      |
| 22  | 磁器皿    | (14.0) | -      | 残1.5   | 内 染付/外 梅樹文。                      | 肥前系    | 口: 1/6以下             | 1区SK-07       |                  |
| 23  | 磁器皿    | (13.9) | -      | 残2.0   | 内 染付/外 梅樹文。                      | 肥前系    | 口: 1/6以下             | 1区SK-07       |                  |
| 24  | 磁器皿    | -      | (14.0) | 残1.4   | 内 染付、山水文/外 五瓣付鞭刺各                | 肥前系    | 底: 1/6以下             | 2区表探          | 18世紀             |
| 25  | 陶器染付   | -      | -      | 残2.9   | 外 灰釉、鐘手/底 紙胎。                    | 美濃     | 口縫部一部<br>欠           | 1区            | 18世紀             |
| 26  | 磁器盤    | -      | (3.6)  | 残1.3   | 外 染付、圓線。                         | 肥前系    | 底: 1/4以下             | 3区            | 18世紀以降<br>か      |
| 27  | 磁器丸瓶   | (9.0)  | -      | 残3.1   | 内 染付、圓線/外 草花文                    | 肥前系    | 口: 1/4               | 3区SI-01       | 18世紀後半           |
| 28  | 磁器丸瓶   | (10.0) | -      | 残4.5   | 内 染付、草木文/外 草木文・圓線。               | 肥前系    | 口~底: 1/2<br>以下       | 2区            | 18世紀後半           |
| 29  | 磁器小瓶   | (7.6)  | -      | 残3.6   | 内 染付、圓線/外 鑿書きによる編文・櫛目            | 肥前系    | 口~底1/4以下             | 1区            | 18世紀後半           |
| 30  | 磁器小瓶   | (10.0) | -      | 残3.3   | 内 染付、圓線/外 鑿書きによる編文・櫛目文。          | 肥前系    | 口: 1/8               | 1区            | 18世紀後半           |
| 31  | 磁器皿    | (18.0) | -      | 残2.0   | 内 染付、唐草文/外 草花文(唐草文状)。            | 肥前系    | 口: 1/4以下             | 1区            | 18世紀後半           |
| 32  | 磁器皿    | -      | 2.8    | 残4.7   | 外 染付、草花文。                        | 肥前系    | 体: 2/3以下<br>底: 完存    | 3区            | 18世紀後半           |
| 33  | 磁器小瓶   | (8.0)  | -      | 残3.2   | 外 染付、樹文か、鑿み。                     | 肥前系    | 口: 1/6以下             | 注記不明          | 18世紀後葉<br>以降     |
| 34  | 磁器致重   | -      | (9.0)  | 残1.9   | 外 染付鑿み/底 鞭刺ぎ、高台裏に無輪の<br>アルミニナ付等。 | 肥前系    | 底: 1/4以下             | 4区N-1         | 18世紀後半<br>以降     |
| 35  | 磁器広口瓶  | (12.0) | 6.2    | 最大6.7  | 外 染付、圓線と魚・福字文。                   | 肥前有田系  | 口~底1/2以下             | 1区            | 1780~1860年代      |
| 36  | 磁器小丸瓶  | (8.8)  | 3.2    | 残6.6   | 内 染付、圓線、見込みに五弁花/外 半菊<br>文。       | 肥前系    | 口~体: 1/3<br>底: 完存    | 2区            | 18世紀後葉           |

第3章 発見された遺構と遺物

| No. | 器種         | 口径(cm) | 直径(cm) | 高さ(cm) | 技法・文様等(内面/外面/高台内)                        | 产地等           | 残存               | 出土地              | 備考              |
|-----|------------|--------|--------|--------|--|---------------|------------------|------------------|-----------------|
| 37  | 磁器<br>輪花皿  | (13.0) | -      | 残2.2   | 型造り。内 染付、うろこ文/外 蕨草文。                     | 肥前系           | 口:1/8            | 4区               | 18世紀後葉          |
| 38  | 磁器         | (8.2)  | -      | 残2.8   | 内 染付、圓底/外 橢円学文・格子文。焼き<br>離が痕あり。          | 肥前系           | 口:1/8以下          | 1区SK-07          | 18世紀後葉<br>以降    |
| 39  | 小丸瓶        | -      | -      | 残2.1   | 内 染付、圓底、見込み コンニャク判で五弁<br>華・外 青磁。         | 底:完存          | 2区表採             | 18世紀後半           |                 |
| 40  | 磁器<br>小丸瓶  | (8.2)  | (3.2)  | 5.5    | 内 染付、圓底/外 橢円学文・格子文。焼き<br>離が痕あり。格子文。      | 肥前系           | 口~底1/3以下         | 1区・1区<br>SK-07   | 1780~1860<br>年代 |
| 41  | 高台染付       | (7.1)  | 3.0    | 5.0    | 内 染付、圓底、見込み 梅鉢文/外 菊花<br>文。               | 肥戸・美<br>濃系    | 口:1/4以下          | 3区SI-01          | 18世紀後葉<br>以降    |
| 42  | 磁器<br>小丸瓶  | (9.3)  | -      | 残3.4   | 内 染付、圓底/外 半菊文。                           | 肥前系           | 口:1/4以下          | 3区SI-01          | 1780~1860<br>年代 |
| 43  | 磁器<br>筒形瓶  | 最大6.8  | 3.9    | 5.2    | 内 染付、圓底、見込み 五弁華文/外 半菊<br>文・黒錦。           | 肥前系           | 口~底:2/3          | 1区<br>底:完存       | 1780~1860<br>年代 |
| 44  | 磁器<br>瓶    | -      | (5.8)  | 残3.3   | 内 無釉/外 圓錐。被熱。                            | 底:1/4         | 3区北              | 18世紀後葉<br>以降     |                 |
| 45  | 磁器<br>丸瓶   | (8.0)  | (3.0)  | 5.2    | 内 染付、圓錐、見込み 五弁華文/外 竹<br>文・黒錦。            | 肥前系           | 口~底:1/4          | 1区               | 18世紀後葉          |
| 46  | 磁器<br>筒形瓶  | -      | (3.6)  | 残3.6   | 内 見込み圓錐・五弁華・外 菊花文。                       | 肥前系           | 体~底:1/4,2区<br>以下 | 1780~1860        | 年代              |
| 47  | 磁器<br>瓶    | (13.3) | 8.8    | 3.7    | 内 体部染付、済み目立つ、見込み半菊文・<br>唐草文/外 底輪剥き蛇の目高台。 | 肥前系           | 口:1/6            | 1区S-7~2<br>区底:完存 | 1780~1860<br>年代 |
| 48  | 磁器<br>小丸瓶  | -      | (4.9)  | 残2.0   | 内 染付、見込みに文様/外 圓錐。                        | 肥前系           | 底:1/4            | 3区SI-01          | 18世紀後葉<br>以降    |
| 49  | 磁器<br>丸瓶   | (12.0) | -      | 残3.8   | 外 染付、済み                                  | 肥前系           | 口1/8以下           | 3区SI-01          | 18世紀後葉<br>以降    |
| 50  | 磁器<br>酒御持利 | 1.7    | (2.8)  | 10.0   | 外 染付、草花文。                                | 肥前系           | 口:完存<br>底~底:1/2  | 1区S-7            | 18世紀後葉<br>以降    |
| 51  | 磁器<br>小丸瓶  | -      | (3.2)  | 残2.2   | 内 染付、圓錐、見込み「来」/外 矢羽根<br>文・黒錦。            | 肥前系           | 底:ほぼ光<br>底:存     | 3区               | 18世紀後葉<br>以降    |
| 52  | 磁器<br>小丸瓶  | -      | (3.1)  | 残4.0   | 内 染付、圓錐・五弁華/外 雪輪文。                       | 肥前系           | 体~底1/4以下         | 4区N-1下<br>区      | 18世紀後葉<br>以降    |
| 53  | 磁器<br>広口瓶  | -      | (5.3)  | 残2.2   | 外 染付、圓錐。被熱。                              | 肥戸・美<br>濃系    | 口:1/5            | 3区               | 19世紀            |
| 54  | 陶器<br>瓶    | (9.3)  | -      | 残3.9   | 外 圓錐。                                    | 肥戸・美<br>濃系    | 口:1/8以下          | 3区               | 18世紀末~<br>19世紀  |
| 55  | 磁器<br>瓶    | (22.2) | (13.3) | 2.8    | 内 染付、白蘚半菊文、済み目立つ/外 唐草<br>文。              | 肥前系           | 口~底:1/6          | 1区               | 19世紀萌芽          |
| 56  | 磁器<br>小丸瓶  | -      | (4.4)  | 残3.2   | 外 染付、竹文・圓錐。                              | 肥前系           | 底:1/6            | 1区               | 19世紀            |
| 57  | 陶器<br>蓋か   | 9.0    | -      | 3.0    | 外 沈藤による蔓叢文を地に長原・白蘚・<br>灰草系か 楊梅文。         | 灰草系か<br>口:2/3 | 1区               |                  |                 |
| 58  | 磁器<br>小瓶   | -      | (3.5)  | 残2.1   | 外 手描き染付。                                 | 肥前系           | 底:ほぼ完<br>存       | 1区               | 18世紀            |
| 59  | 磁器<br>小瓶   | -      | (3.6)  | 残2.8   | 外 葉色不良の良須による草木文。                         | 肥前系           | 底:1/4            | 2区               | 近世              |
| 60  | 磁器<br>瓶    | -      | -      | 残2.3   | 外 手描き染付。                                 | 肥戸・美<br>濃系    | 底:1/4            | 3区表採             | 19世紀初頭<br>以降    |
| 61  | 磁器<br>墨吹瓶  | (6.7)  | -      | 残4.0   | 外 染付、瓶文。                                 | 肥前系           | 口:1/4以下          | 1区               | 19世紀            |
| 62  | 磁器<br>墨吹瓶  | (7.0)  | -      | 残4.9   | 外 染付、植物文。                                | 肥前系           | 口:2/3以下          | 1区               | 19世紀            |
| 63  | 磁器<br>八角瓶  | -      | (8.0)  | 残3.4   | 外 染付、山水文。                                | 肥前有田<br>系     | 底:1/4以下          | 4区               | 18世紀以降          |
| 64  | 磁器<br>湯呑瓶  | (7.0)  | -      | 残3.5   | 外 染付、山水文。                                | 肥前系           | 口1/6以下           | 3区SI-01          | 19世紀            |
| 65  | 磁器<br>焼反碗  | (10.0) | -      | 残3.5   | 内 染付、圓錐/外 山水文。                           | 肥前系           | 口:1/8            | 3区SI-01          | 19世紀            |
| 66  | 陶器<br>利便   | 3.0    | -      | 残7.4   | 外 灰釉、肩部に圓錐。                              | 美濃系           | 口:完存<br>底:1/5以下  | 1区               | 19世紀第1四<br>半期   |
| 67  | 磁器<br>焼反碗  | (8.6)  | 3.6    | 4.3    | 内 肉厚打込み・済み、口縁/外 木型打込<br>み・済み・牡丹文。疊付輪削。   | 肥戸・美<br>濃系    | 口~底:1/3          | 1区               | 19世紀            |
| 68  | 磁器<br>焼反碗  | (9.3)  | 3.5    | 4.1    | 内 大型打込み・済み、口縁/外 木型打込<br>み・済み・牡丹文。疊付輪削。   | 肥戸・美<br>濃系    | 口~底:1/3          | 3区SI-01          | 19世紀第3<br>四半期   |
| 69  | 磁器<br>焼反碗  | (8.6)  | (3.0)  | 3.7    | 内 見込み コンニャク判印、口縁/外 染付<br>(西洋共模)。前奈朱飴。    | 肥戸・美<br>濃系    | 口~底:1/4          | 3区<br>以下         | 19世紀第2~<br>4四半期 |
| 70  | 磁器<br>小丸瓶  | (8.1)  | -      | 残2.9   | 内 クロム青磁/外 網刷ぎ・クロム青磁。                     | 口:1/4以下       | 4区               | 20世紀初頭           |                 |
| 71  | 磁器<br>焼反碗  | (6.6)  | -      | 残3.5   | 内 染付、瓶文。                                 | 肥戸・美<br>濃系    | 口:1/4以下          | 3区               | 19世紀第2~<br>4四半期 |
| 72  | 磁器<br>焼反碗  | (2.8)  | -      | 残3.5   | 外 染付、圓錐。                                 | 肥戸・美<br>濃系    | 口:1/4以下          | 1区               | 19世紀            |
| 73  | 磁器<br>焼反碗  | (6.6)  | -      | 残2.8   | 外 染付、草文(西洋共模)。                           | 肥戸美濃<br>系     | 口:1/4以下          | 3区<br>以下         | 19世紀第2~<br>4四半期 |

| No. | 器種      | 口径(cm) | 底径(cm) | 器高(cm) | 技法・文様等(内面/外面/高台内)                     | 座地等               | 現存             | 出土地              | 備考      |
|-----|---------|--------|--------|--------|---------------------------------------|-------------------|----------------|------------------|---------|
| 74  | 磁器皿     | -      | (6.3)  | 残1.0   | 内コバルト釉手書き染付・外底脚剥ぎ蛇の目高台。               | 越戸美濃 底:1/4以下<br>下 | 4区             | 19世紀後半~<br>4四半期  |         |
| 75  | 磁器壇反側   | (9.0)  | -      | 残2.5   | 内口絵/外壇付(西洋真頃)。煎茶茶碗。N                  | 越戸美濃 口:1/8以下      | 3区             | 19世紀後半~<br>4四半期  |         |
| 76  | 磁器壇反側   | -      | (2.9)  | 残2.2   | 外壇付(西洋真頃)、墨跡・鶴文。煎茶碗。                  | 越戸美濃 底:1/3以下<br>系 | 3区SI-01        | 19世紀後半~<br>4四半期  |         |
| 77  | 磁器皿     | (7.2)  | (2.7)  | 2.8    | 内上絵で亀甲文・「大久」銘/外 高台に墨目文。座地は美濃。記念杯。     | 口~底:1/4以下         | 2区             | 19世紀後半以降         |         |
| 78  | 磁器皿     | -      | (2.7)  | 残1.2   | 内 上絵で、口小唇/外 高台に墨目文。座地は美濃。記念杯。         | 底~底:1/4以下         | 3区             | 19世紀後半以降         |         |
| 79  | 磁器丸碗    | -      | 3.0    | 残2.5   | 外 壇付輪削ぎ。                              | 美濃か 底:完存          | 6区             | 19世紀後半~<br>20世紀初 |         |
| 80  | 磁器皿     | -      | 3.1    | 残2.2   | 内 /外 透明釉、貫入あり。                        | 底:完存              | 3区             |                  |         |
| 81  | 磁器壇付利   | -      | (5.6)  | 残3.2   | 外 体部下端開窓。底脚剥ぎ。                        | 底:1/4以下           | 3区             | 19世紀             |         |
| 82  | 磁器碗     | (8.0)  | -      | 残2.8   | 内 /外 透明釉。                             | 口:1/4以下           | 1区             | 19世紀             |         |
| 83  | 磁器不明    | -      | 残3.5   | 高さ計測   | 外 型作り、上面薬文、溝み。                        | 肩一部               | 2区             | 19世紀             |         |
| 84  | 磁器壇付利   | -      | (6.8)  | 残2.9   | 外 体部足輪、下唇・底脚剥ぎ。墨書きあり(取扱不記)。           | 底:3/4             | 1区・3区          | 18~19世紀          |         |
| 85  | 磁器仏龕器   | -      | (4.8)  | 残4.0   | 内 コバルト釉で墨絵、底部余切り。                     | 南東北~底:1/4<br>北脇窓か | 2区波模           | 19世紀後半           |         |
| 86  | 磁器瓶     | -      | (6.0)  | 残2.9   | 内 透明釉/外 細筆書きの幾何学文。                    | 肥前系か 底:1/4以下      | 3区SI-01        | 近代か              |         |
| 87  | 陶器土瓶    | -      | (8.9)  | 残1.2   | 外 無輪、煤付。                              | 底:1/4以下           | 1区             | 19世紀以降           |         |
| 88  | 磁器丸碗    | (9.9)  | -      | 残3.0   | 内 墨絵吹絵/外 印刷手(型紙模倣)、文毫・亀甲花文・うろこ文。      | 口:1/4以下           | 2区波上           | 19世紀後半~<br>20世紀初 |         |
| 89  | 陶器へこ彌焼  | -      | (7.0)  | 残14.0  | 外 体部鉄輪、底部ケズリ。                         | 肩:1/2<br>底:3      | 1区SK-07        |                  |         |
| 90  | 磁器碗     | -      | 4.1    | 残3.2   | 内 手描き墨絵、吹絵、見込み施剥ぎ/外 印刷手(型紙模倣)。        | 底~底:1/4<br>以下     | 6区             | 19世紀後半~<br>20世紀初 |         |
| 91  | 磁器丸碗    | -      | (2.6)  | 残3.3   | 内 墨書き模倣、松竹梅円文/外 印刷手(型紙模倣)。            | 底~底:1/4<br>以下     | 1区             | 19世紀後半~<br>20世紀初 |         |
| 92  | 陶器皿     | 12.8   | 5.3    | 3.7    | 内 灰釉のち鉄輪模倣/外 灰釉、底部トチン窓。京風模倣。          | 越戸・美 口~底:2/3      | 3区N1           | 18世紀前半か          |         |
| 93  | 陶器皿     | (9.3)  | 3.7    | 5.7    | 内 /外 不純物の多い灰釉、貫入り/外 国模倣。同じ調(東洋地方で多い)。 | 南東北か 口:1/2<br>4区  |                |                  |         |
| 94  | 陶器小皿    | (8.0)  | -      | 残1.7   | 内 /外 鉄輪。                              | 口:1/6以下           | 3区             |                  |         |
| 95  | 陶器施利    | -      | -      | 残6.3   | 外 鉄輪、舟施利か。                            | 底:1/4以下           | 1区SK-07        | 18~19世紀か         |         |
| 96  | 陶器土瓶    | (6.0)  | -      | 残3.8   | 内 鉄輪/外 体部沈線の墨絵、墨削ぎ、鉄輪。                | 口:1/4             | 1区SK-07        |                  |         |
| 97  | 陶器瓶     | -      | 4.5    | 残2.3   | 内 /外 灰釉。                              | 南東北か 底:2/3        | 2区             |                  |         |
| 98  | 陶器皿     | -      | (7.1)  | 残1.3   | 内 灰釉のち鉄輪模倣。(草花文)/外 灰釉。京風模倣。           | 底:1/4以下           | 3区P5           | 18世紀前半か          |         |
| 99  | 陶器小皿    | -      | -      | 残1.8   | 内 型打ち、鉄輪/外 布目、口縁部鉄輪。                  | 口:1/4             | 1区             | 18~19世紀          |         |
| 100 | 陶器半彌窯   | (23.8) | -      | 残23.0  | 内 灰釉 /外 灰釉地。鉄輪の型紙模倣、草花文。104と同一個体か。    | 上位1/5             | 1区・1区<br>SK-07 |                  |         |
| 101 | 陶器皿     | -      | (7.0)  | 残1.4   | 内 /外 灰釉。京風模倣。                         | 越戸・美 底:1/4以下      | 3区表深<br>溝      | 18世紀             |         |
| 102 | 陶器施利    | -      | (6.0)  | 残4.0   | 外 白濁釉                                 | 在地系               | 底:1/3以下        | 1区               |         |
| 103 | 陶器皿     | -      | -      | 残2.7   | 内 /外 青緑釉か。                            | 肥前系               | 底:1/4          | 3区               |         |
| 104 | 陶器半彌窯   | -      | (30.0) | 残3.8   | 内 灰釉 /外 体部灰釉。100と同一個体か。               | 底:1/12以下          | 1区             |                  |         |
| 105 | 陶器縹(行平) | (16.7) | -      | 残7.8   | 内 /外 灰釉。                              | 在地系               | 口:1/4以下        | 4区               |         |
| 106 | 陶器ひょう焼  | 4.8    | 2.9    | 2.9    | 内 灰釉/外 底部余切り。                         | 在地系               | 完存             | 3区SI-01          | 19~20世紀 |
| 107 | 陶器ひょう焼  | 4.2    | 2.8    | 最大2.7  | 内 灰釉/外 底部余切り。                         | 在地系               | ほぼ完存           | 3区N1             | 19~20世紀 |
| 108 | 陶器ひょう焼  | -      | 3.3    | 2.6    | 内 灰釉/外 底部余切り。                         | 在地系               | 底:2/3          | 3区               | 19~20世紀 |
| 109 | 陶器壇付    | (32.4) | -      | 残8.4   | 内 墨目、鉄輪/外 灰釉。片口あり。                    | 在地系               | 口:1/8          | 3区N1             |         |
| 110 | 陶器壇付    | -      | -      | 残9.5   | 内 墨目、鉄輪/外 灰釉。                         | 越戸・美 口縁部一部<br>壇   | 1区             |                  |         |

第3章 発見された遺構と遺物

| No. | 器種         | 口径(cm) | 底径(cm) | 最高(cm) | 技法・文様等(内面/外面/高台内)                        | 産地等 | 残存            | 出土地                | 備考 |
|-----|------------|--------|--------|--------|--|-----|---------------|--------------------|----|
| 111 | 陶器<br>擂鉢   | (31.8) | -      | 残10.7  | 内 摧目、体部 織錦口縁部鉄輪/外体部 銘<br>外口縁部鉄輪。         | 在地系 | 口:1/8         | 3区SK-01            |    |
| 112 | 陶器<br>擂鉢   | -      | -      | 残4.3   | 内 摧目、体部鉄輪、口縁部鉄輪/外 体部鉄輪。                  | 在地系 | 口縁部一部         | 1区                 |    |
| 113 | 陶器<br>擂鉢   | -      | -      | 残4.1   | 内 摧目、縫隙/外 縫隙。                            | 在地系 | 口縁部一部         | 1区N.1              |    |
| 114 | 陶器<br>擂鉢   | -      | -      | 残3.8   | 内 摧目、縫隙/外 縫隙。                            | 在地系 | 口縁部一部         | 1区                 |    |
| 115 | 陶器<br>擂鉢   | (30.1) | -      | 残6.3   | 内 摧目、縫隙/外 縫隙。                            | 在地系 | 口:1/8         | 1区                 |    |
| 116 | 陶器<br>擂鉢   | -      | -      | 残3.9   | 内 体部鉄輪、口縁部鉄輪、片口あり/外 体部鉄輪、口縁部鉄輪。          | 在地系 | 口縁部一部         | 2区                 |    |
| 117 | 陶器<br>擂鉢   | (30.1) | -      | 残6.1   | 内 摧目、縫隙/外 縫隙。                            | 在地系 | 口:1/8         | 1区SK-07            |    |
| 118 | 陶器<br>擂鉢   | -      | -      | 残3.3   | 内 縫隙/外 縫隙。                               | 在地系 | 口縁部一部         | 3区N.1              |    |
| 119 | 陶器<br>擂鉢   | -      | -      | 残5.5   | 内 細鉄輪/外 鉄輪。                              | 在地系 | 口縁部一部         | 3区                 |    |
| 120 | 陶器<br>擂鉢   | (29.2) | -      | 残5.2   | 内 摧目、縫隙/外 縫隙。                            | 在地系 | 口:1/10        | 3区                 |    |
| 121 | 陶器<br>擂鉢   | -      | -      | 残3.1   | 内 縫隙/外 縫隙。                               | 在地系 | 口縁部一部         | 1区N.1              |    |
| 122 | 陶器<br>擂鉢   | (28.4) | -      | 残3.8   | 内 縫隙/外 縫隙。                               | 在地系 | 口:1/10        | 1区                 |    |
| 123 | 陶器<br>擂鉢   | -      | -      | 残4.1   | 内 細目、縫隙/外 縫隙。                            | 在地系 | 口縁部一部         | 3区                 |    |
| 124 | 陶器<br>擂鉢   | -      | -      | 残6.9   | 内 摧目、縫隙/外 縫隙。                            | 在地系 | 体部一部          | 3区                 |    |
| 125 | 陶器<br>擂鉢   | -      | -      | 残9.0   | 内 摧目、縫隙/外 縫隙。                            | 在地系 | 体部一部          | 4区表採               |    |
| 126 | 陶器<br>擂鉢   | -      | (7.7)  | 残7.2   | 内 摧目、縫隙/外 縫隙。                            | 在地系 | 底:1/4         | 3区北                |    |
| 127 | 陶器<br>擂鉢   | -      | (8.0)  | 残6.0   | 内 摧目、縫隙/外 縫隙。                            | 在地系 | 底:1/4         | 1区S-7              |    |
| 128 | 陶器<br>擂鉢   | -      | (11.5) | 残4.9   | 内 摧目、縫隙/外 縫隙。                            | 在地系 | 底1/4          | 2区表採               |    |
| 129 | 陶器<br>擂鉢   | -      | (10.4) | 残4.1   | 内 摧目、縫隙/外 縫隙。                            | 在地系 | 底:1/2         | 3区表採               |    |
| 130 | 陶器<br>擂鉢   | -      | (12.4) | 残9.5   | 内 摧目、縫隙/外 縫隙、底部蛇の目。                      | 在地系 | 底:2/3         | 1区                 |    |
| 131 | 瓦質<br>内耳土器 | (31.0) | -      | 残5.5   | 内 ロクロナデ/外 ロクロナデ。                         | 在地系 | 口:1/12        | 1区N.1              |    |
| 132 | 瓦質<br>火鉢   | (22.9) | -      | 残6.3   | 内 ロクロナデ/外 ロクロナデ。                         | 在地系 | 口:1/12        | 2区                 |    |
| 133 | 瓦質<br>鉢    | (38.4) | -      | 残5.1   | 内 ロクロナデ/外 ロクロナデ。                         | 在地系 | 口:1/6         | 1区                 |    |
| 134 | 瓦質<br>内耳土器 | (31.0) | -      | 残3.9   | 内 ロクロナデ/外 ロクロナデ。                         | 在地系 | 口:1/12以<br>下  | 3区N.1              |    |
| 135 | 瓦質<br>内耳土器 | (26.4) | -      | 残7.0   | 内 ロクロナデ/外 ロクロナデ。                         | 在地系 | 口:1/8         | 1区N.1-2            |    |
| 136 | 陶器<br>鉢    | 復23.0  | -      | 残5.5   | 内 ロクロナデ・鉄輪/外 ロクロナデ・鉄                     | 在地系 | 口:1/8         | 3区・3区<br>SI-01     |    |
| 137 | 陶器<br>鉢    | 復23.0  | -      | 残3.1   | 内 ロクロナデ・鉄輪/外 ロクロナデ・鉄                     | 在地系 | 口:1/12        | 4区                 |    |
| 138 | 瓦質<br>火鉢   | -      | -      | 残6.1   | 内 ロクロナデ/外 ロクロナデ。                         | 在地系 | 体:1/6         | 3区南                |    |
| 139 | 瓦質<br>火鉢   | -      | -      | 残9.7   | 内 ロクロナデ/外 ロクロナデ、体部被熱痕<br>あり。             | 在地系 | 体部一部          | 1区                 |    |
| 140 | 陶器<br>鉢    | -      | (13.0) | 残3.0   | 内 ロクロナデ・鉄輪/外 ロクロナデ・鉄<br>鉢、蓋込/見込 足付ハコ型蓋輪。 | 在地系 | 体部一部<br>底:1/6 | 3区・3区<br>1-3区SI-01 |    |
| 141 | 瓦質<br>内耳土器 | -      | (17.0) | 残4.0   | 内 ロクロナデ/外 ロクロナデ。                         | 在地系 | 底:1/8         | 1区N.1              |    |
| 142 | 陶器<br>甕    | -      | (18.0) | 残20.8  | 内 ナデ/外 ロクロナデ・鉄輪。                         | 儀楽  | 体部一部<br>底:1/3 | 3区・3区<br>N.1       |    |
| 143 | 陶器<br>鉢    | -      | (9.2)  | 残2.5   | 内 ロクロナデ・鉄輪/外 薩輪。                         | 在地系 | 底:5/12        | 3区N.1              |    |
| 144 | 土器<br>灯明具  | 最大4.5  | (3.6)  | (2.0)  | 内 ロクロナデ/外 ロクロナデ。片口に指<br>廻。               | 在地系 | 口:1/3         | 4区                 |    |
| 145 | 土器<br>灯明具  | 4.8    | 3.0    | 3.8    | 内 ロクロナデ/外 ロクロナデ。片口に指<br>廻。               | 在地系 | 先存            | 1区N.1              |    |
| 146 | かわらけ       | -      | 6.0    | 残1.0   | 内 ロクロナデ/外 ロクロナデ、底部回転系<br>切り。             | 在地系 | 底1/2          | 1区                 |    |
| 147 | かわらけ       | -      | (5.4)  | 残1.0   | 内 ロクロナデ/外 ロクロナデ、底部回転系<br>切り。             | 在地系 | 底:1/4         | 3区北                |    |

| No. | 器種         | 口径(cm) | 底径(cm) | 器高(cm) | 技法・文様等(内面/外面/高台内)                          | 施地等 | 残存             | 出土地                   | 備考    |
|-----|------------|--------|--------|--------|--|-----|----------------|-----------------------|-------|
| 148 | 陶器<br>鉢    | (16.0) | -      | 残4.0   | 内 ロクロナデ・鉄輪/外 ロクロナデ・鉄<br>輪。                 | 在地系 | 口:1/5          | 1区                    |       |
| 149 | 陶器<br>鉢    | (12.0) | -      | 残5.8   | 内 ロクロナデ・鉄輪/外 ロクロナデ・鉄<br>輪。                 | 在地系 | 口:1/12         | 1区SK-07               |       |
| 150 | 陶器手碗       | (11.5) | -      | -      | 内 ロクロナデ・灰輪/外 ロクロナデ・灰<br>輪。                 | 肥脂  | 口~体:1/4        | 3区南                   | 18世紀か |
| 151 | 陶器<br>鉢    | (18.0) | -      | 残6.8   | 内 ロクロナデ・鉄輪/外 ロクロナデ・鉄<br>輪。下半断捨。            | 在地系 | 口:1/8          | 3区                    |       |
| 152 | 陶器<br>鉢    | (12.0) | -      | 残8.0   | 内 ロクロナデ・鉄輪/外 ロクロナデ・鉄<br>輪。                 | 在地系 | 口:1/4          | 1区SK-07               |       |
| 153 | 陶器<br>碗    | -      | -      | 残4.2   | 内 ロクロナデ・鉄輪/外 ロクロナデ・鉄<br>輪。                 | 在地系 | 体:1/6          | 3区                    |       |
| 154 | 陶器<br>鉢    | -      | -      | 残5.0   | 内 ロクロナデ・鉄輪/外 ロクロナデ・鉄<br>輪、下半断捨。            | 在地系 | 口縁一部           | 4区                    |       |
| 155 | 陶器<br>香炉   | -      | (7.0)  | 残3.0   | 内 ロクロナデ/外 ロクロナデ・足貼付<br>け、灰輪。               | 在地系 | 底:1/4          | 3区                    |       |
| 156 | 陶器<br>香炉   | -      | (7.4)  | 残3.8   | 内 ロクロナデ・鉄輪/外 ロクロナデ・足<br>貼付け、鉄輪。            | 在地系 | 底:1/3          | 3区SK-01               |       |
| 157 | 陶器<br>瓶    | -      | (5.0)  | 残4.0   | 内 ロクロナデ・鉄輪/外 ロクロナデ・鉄<br>輪、下半断捨。            | 在地系 | 底:4/5          | 4区                    |       |
| 158 | 陶器手碗       | -      | 5.8    | -      | 内 ロクロナデ・灰輪/外 ロクロナデ・灰<br>輪。                 | 在地系 | 体部一部<br>底:完全   | 1区                    | 17世紀  |
| 159 | 陶器<br>瓶    | -      | (4.6)  | 残3.4   | 内 ロクロナデ・鉄輪/外 ロクロナデ・鉄<br>輪、下半断捨。            | 在地系 | 体部一部<br>底:1/3  | 4区                    |       |
| 160 | 陶器<br>鉢    | -      | 10.0   | 残3.1   | 内 ロクロナデ・鉄輪/外 ロクロナデ・鉄<br>輪、底部断捨・先込・足付ハマ塔輪等。 | 在地系 | 底:9/10         | 4区表探                  |       |
| 161 | 陶器<br>鉢    | -      | (10.4) | 残3.2   | 内 ロクロナデ・鉄輪/外 ロクロナデ・鉄<br>輪、下半断捨。            | 在地系 | 底:1/8          | 1区                    |       |
| 162 | 陶器<br>碗    | -      | (4.0)  | 残2.3   | 内 ロクロナデ・灰輪/外 ロクロナデ・灰<br>輪、下半断捨。            | 在地系 | 体部一部<br>底:1/4  | 5区                    |       |
| 163 | 陶器<br>鉢    | -      | (6.0)  | 残2.5   | 内 ロクロナデ・精輪/外 ロクロナデ・精<br>輪。                 | 在地系 | 体部一部<br>底:1/4  | 3区表探                  |       |
| 164 | 陶器<br>鉢    | -      | -      | -      | 内 ロクロナデ・鉄輪/外 ロクロナデ・鉄<br>輪。                 | 在地系 | 口縁一部           | 4区                    |       |
| 165 | 瓦質<br>内耳土器 | (46.0) | (38.0) | 残7.5   | 内 ロクロナデ/外 ロクロナデ。                           | 在地系 | 口:1/6<br>底:1/6 | 1区SK-01               |       |
| 166 | 瓦質<br>内耳土器 | (38.0) | (33.0) | 残5.7   | 内 ロクロナデ/外 ロクロナデ。                           | 在地系 | 口:2/3<br>底:一部  | 1区・1区SK-07<br>1区SK-06 |       |

第2表 金属製品観察表

| No. | 材質 | 器種  | 長(cm) | 幅(cm) | 厚(cm) | 重(g)  | 形態等               | 残存    | 出土位置         |
|-----|----|-----|-------|-------|-------|-------|-------------------|-------|--------------|
| 1   | 鉄  | 釘   | 148.0 | 3.0   | 2.0   | 28.29 | 短軸断面円形、現代の釘か。     | 下縁欠損  | 3区           |
| 2   | 鉄  | 釘   | 88.5  | 20.5  | 10.6  | 32.56 | 頭の形態不明、短軸断面方形。    | 下縁欠損  | 1区SK-07 No.3 |
| 3   | 鉄  | 釘   | 78.0  | 3.0   | 3.0   | 5.87  | 頭は両側縁・前に突出。断面長方形。 | 下縁欠損  | 3区           |
| 4   | 鉄  | 釘2本 | 65.0  | 4.0   | 2.5   | 9.80  | T字形、頭の釘が接着き。断面方形。 | 民衝下縁欠 | 1区 SK-07     |
| 5   | 鉄  | 釘   | 60.0  | 5.0   | 4.0   | 9.39  | 頭は両側縁に突出、短軸断面方形。  | 下縁欠損  | 4区           |
| 6   | 鉄  | 釘   | 45.0  | 22.5  | 6.5   | 14.04 | 頭は両側縁にのばし折り。断面方形。 | 下縁欠損  | 1区           |
| 7   | 鉄  | 釘   | 58.5  | 9.5   | 6.0   | 3.79  | 頭はのばして折りにくく。断面方形。 | 下縁欠損  | 1区           |
| 8   | 鉄  | 釘   | 38.0  | 9.0   | 4.5   | 3.64  | 頭は両側縁に突出、折り曲げなし。  | 下縁欠損  | 1区 SK-07     |
| 9   | 鉄  | 釘   | 37.0  | 12.0  | 4.0   | 4.91  | 頭は両側縁・前にのばし折り。    | 下縁欠損  | 3区No.1       |
| 10  | 鉄  | 釘   | 28.5  | 10.5  | 3.5   | 2.78  | 頭は両側・前にのばし折り。     | 下縁欠損  | 1区 SK-07     |
| 11  | 鉄  | 釘   | 36.0  | 3.0   | 3.0   | 2.67  | 頭は側縁・前に突出。        | ほぼ完存  | 3区           |
| 12  | 鉄  | 釘   | 48.0  | 8.0   | 1.7   | 2.85  | 頭を薄くして折る。         | 下縁欠損  | 1区 SK-07     |
| 13  | 鉄  | 釘   | 29.5  | 9.5   | 4.0   | 1.42  | 頭は両側縁・前にのばし折り。    | 下縁欠損  | 1区           |
| 14  | 鉄  | 釘   | 34.5  | 5.5   | 1.0   | 1.16  | 頭は少し薄くして折る。       | ほぼ完存  | 1区 SK-07     |
| 15  | 鉄  | 釘   | 36.0  | 8.5   | 3.5   | 2.80  | 頭は薄くして幅広に折る。      | 下縁欠損  | 1区 SK-07     |
| 16  | 鉄  | 釘   | 63.0  | 3.0   | 3.0   | 6.05  | 頭は前に折り曲げ、短軸断面方形。  | ほぼ完存  | 4区           |
| 17  | 鉄  | 釘   | 50.0  | 2.0   | 4.5   | 1.84  | 頭は両側縁・前に出る。断面方形。  | 完存    | 4区           |
| 18  | 鉄  | 釘   | 39.0  | 2.0   | 2.0   | 2.50  | 頭は側縁に突出。          | 完存    | 3区           |
| 19  | 鉄  | 釘か  | 62.0  | 3.0   | 2.0   | 8.16  | 短軸断面方形で、太さ一定。     | 両端欠損  | 6区           |
| 20  | 鉄  | 釘   | 40.0  | 3.0   | 3.0   | 4.54  | 頭は両側縁に突出、短軸断面方形。  | 下縁欠損  | 4区           |
| 21  | 鉄  | 釘   | 45.0  | 3.0   | 3.0   | 4.82  | 頭は両側縁・前に出る。断面方形。  | 下縁欠損  | 4区           |

## 第3章 発見された遺構と遺物

| No. | 材質 | 跡幅   | 長(㎜) | 幅(㎜) | 厚(㎜) | 重(g)  | 形態等               |   | 残存    | 出土位置          |
|-----|----|------|------|------|------|-------|-------------------|---|-------|---------------|
|     |    |      |      |      |      |       | 頭                 | 尾 |       |               |
| 22  | 鉄  | 釘    | 38.0 | 2.5  | 2.5  | 2.83  | 頭は前に折り曲げ、短軸断面方形。  |   | 下端欠損  | 4区            |
| 23  | 鉄  | 釘    | 38.0 | 3.0  | 3.0  | 8.69  | 頭は前に折り曲げ、短軸断面方形。  |   | 下端欠損  | 4区            |
| 24  | 鉄  | 釘    | 39.0 | 3.0  | 4.0  | 2.84  | 短軸断面方形で、頭は斜め。     |   | 下端欠損  | 1区 SK-06      |
| 25  | 鉄  | 釘    | 26.0 | 3.0  | 3.0  | 2.30  | 頭は両側縁、前に出る。断面方形。  |   | 下端欠損  | 4区            |
| 26  | 鉄  | 釘    | 25.0 | 8.5  | 1.8  | 1.70  | 頭は両側縁、前にのばし折り。    |   | 下端欠損  | 2区            |
| 27  | 鉄  | 釘    | 25.5 | 9.5  | 4.5  | 2.31  | 頭は両側縁、前にのばし折り。    |   | 下端欠損  | 1区            |
| 28  | 鉄  | 釘    | 22.5 | 3.0  | 2.5  | 1.22  | 頭は両側・前にのばし折り。     |   | 下端欠損  | 1区            |
| 29  | 鉄  | 釘    | 34.0 | 3.0  | 3.0  | 2.51  | 頭は両側縁、前に出る。断面方形。  |   | 下端欠損  | 4区            |
| 30  | 鉄  | 釘    | 43.0 | 4.0  | 4.0  | 6.92  | 頭は突出か。短軸断面方形。     |   | 下端欠損  | 4区            |
| 31  | 鉄  | 釘    | 29.0 | 8.0  | 4.0  | 1.17  | 頭は両側縁、前にのばし折り。    |   | 下端欠損  | 1区            |
| 32  | 鉄  | 釘    | 21.0 | 7.0  | 3.5  | 0.59  | 頭は薄くてしわに折る。       |   | 下端欠損  | 1区 SK-06 No.2 |
| 33  | 鉄  | 釘か   | 16.0 | 3.0  | 3.0  | 1.65  | 短軸断面方形。           |   | 両端欠損  | 3区            |
| 34  | 鉄  | 小刀   | 33.5 | 16.0 | 5.5  | 4.24  | 断面長方形の茎で、木質残る。    |   | 両端欠損  | 1区 SK-07 No.2 |
| 35  | 鉄  | 釘と繩か | 51.0 | 31.0 | 3.0  | 11.81 | 刀剣の利器と見い頭を折る刺鍬巻き。 |   | 利刃一部存 | 1区            |
| 36  | 鉄  | 釘    | 33.5 | 1.8  | 1.8  | 2.68  | 頭は両側縁、前にのばし折り。    |   | 下端欠損  | 3区 SI-01      |
| 37  | 鉄  | 釘    | 28.5 | 5.5  | 3.5  | 0.74  | 頭は前のみかく空髫。        |   | 完存    | 1区            |
| 38  | 鉄  | 釘    | 20.0 | 5.0  | 5.0  | 2.20  | 頭は両側縁、前に出る。断面方形。  |   | 下端欠損  | 4区            |
| 39  | 鉄  | 釘    | 33.0 | 5.0  | 5.0  | 5.71  | 足は水平線に並がる。        |   | 完存    | 4区            |
| 40  | 鉄  | 釘    | 4.5  | 8.0  | 4.0  | 8.17  | 短軸断面長方形、上端は斜め。    |   | 両端欠損か | 3区            |
| 41  | 鉄  | 釘    | 20.0 | 4.0  | 4.0  | 4.93  | 頭が両側縁に突出、短軸断面方形。  |   | 下端欠損  | 4区            |
| 42  | 鉄  | 不明製品 | 15.0 | 5.0  | 5.0  | 5.03  | 頭は円形、鉄造品。         |   | 下端欠損  | 4区            |
| 43  | 鉄  | 釘    | 20.0 | 3.0  | 3.0  | 6.17  | 頭は突出、短軸断面方形。      |   | 下端欠損  | 4区            |
| 44  | 鉄  | 釘    | 27.0 | 4.0  | 4.0  | 0.65  | 頭は前折り側縁に突出、断面方形。  |   | 下端欠損  | 4区            |
| 45  | 鉄  | 釘    | 27.0 | 5.0  | 3.0  | 1.69  | 頭は両側縁、前にのばし折り。    |   | 下端欠損  | 3区 SI-01      |
| 46  | 鉄  | 釘か   | 1.9  | 4.0  | 4.0  | 2.35  | 頭は前に折り曲げ、短軸断面方形。  |   | 下端欠損  | 4区            |
| 47  | 鉄  | 釘    | 26.0 | 3.0  | 3.0  | 2.61  | 頭は一方に突出、短軸断面方形。   |   | 一方端欠損 | 3区            |
| 48  | 鉄  | 釘    | 20.0 | 5.5  | 2.5  | 1.01  | 短軸断面長方形、頭は前に折る。   |   | 下端欠損  | 3区            |
| 49  | 鉄  | 釘    | 20.0 | 2.0  | 2.0  | 0.86  | 頭は突出か、短軸断面方形。     |   | 下端欠損  | 4区            |
| 50  | 鉄  | 釘    | 12.0 | 1.5  | 1.5  | 1.13  | 頭は側縁に突出する。        |   | 下端欠損  | 3区            |
| 51  | 鉄  | 釘    | 39.0 | 10.5 | 3.5  | 1.59  | 頭は両側に広がるか。        |   | 両端欠損  | 1区            |
| 52  | 鉄  | 釘    | 30.0 | 2.0  | 2.0  | 3.35  | 頭は前に折り曲げ、短軸断面方形。  |   | 下端欠損  | 4区            |
| 53  | 鉄  | 釘    | 28.0 | 3.0  | 3.0  | 2.89  | 頭は前に折り曲げ、短軸断面方形。  |   | 下端欠損  | 4区            |
| 54  | 鉄  | 釘    | 20.0 | 5.0  | 5.0  | 4.43  | 頭は側縁に突出する。        |   | 下端欠損  | 4区            |
| 55  | 鉄  | 釘か   | 23.0 | 4.0  | 4.0  | 4.90  | 短軸断面方形。           |   | 両端欠損  | 3区            |
| 56  | 鉄  | 釘か   | 33.0 | 3.0  | 3.0  | 3.92  | 非鉄製品の可能性もある。      |   | 両端欠損  | 4区            |
| 57  | 鉄  | 不明製品 | 22.0 | 4.5  | 2.0  | 1.47  | 短軸断面丸方角か。         |   | 両端欠損  | 3区            |
| 58  | 鉄  | 釘か   | 30.0 | 3.0  | 3.0  | 7.08  | 断面方形、太さは一定。       |   | 両端欠損  | 4区            |
| 59  | 鉄  | 鉄滓   | 21.0 | 5.0  | 5.0  | 9.09  | 小型の練治滓。           |   | 完存    | 4区            |
| 60  | 鉄  | 不明製品 | 29.0 | 6.0  | 5.0  | 7.16  | 鉄造品。              |   | 両端欠損  | 4区            |
| 61  | 鉄  | 釘か   | 24.0 | 3.0  | 3.0  | 3.15  | 短軸断面方形。           |   | 両端欠損  | 4区            |
| 62  | 鉄  | 不明製品 | 23.0 | 4.0  | 2.0  | 2.30  | 短軸断面丸方形、わずかに彎曲。   |   | 両端欠損  | 4区            |
| 63  | 鉄  | 釘か   | 36.0 | 4.0  | 2.0  | 4.04  | 断面長方形で、直線状にのびる。   |   | 両端欠損  | 4区            |
| 64  | 鉄  | 釘か   | 22.0 | 5.0  | 3.0  | 1.18  | 短軸断面長方形。          |   | 両端欠損  | 4区            |
| 65  | 鉄  | 不明製品 | 21.0 | 6.5  | 5.0  | 2.39  | 短軸断面方形。           |   | 両端欠損  | 4区            |
| 66  | 鉄  | 釘    | 19.5 | 3.0  | 3.0  | 2.41  | 先端が細くなる。短軸断面方形。   |   | 下端欠損  | 3区            |
| 67  | 鉄  | 釘か   | 20.0 | 5.0  | 5.0  | 3.63  | 短軸断面方形。           |   | 両端欠損  | 3区            |
| 68  | 鉄  | 釘か   | 40.0 | 4.0  | 2.0  | 2.38  | 短軸断面長方形、下方が少し細い。  |   | 両端欠損  | 3区            |
| 69  | 鉄  | 釘か   | 28.0 | 4.0  | 4.0  | 2.22  | 短軸断面方形。           |   | 両端欠損  | 4区            |
| 70  | 鉄  | 釘か   | 24.0 | 4.0  | 4.0  | 0.99  | 短軸断面方形、一方が細くなる。   |   | 両端欠損  | 4区            |
| 71  | 鉄  | 釘か   | 38.0 | 4.0  | 4.0  | 8.60  | 短軸断面方形。           |   | 両端欠損  | 3区            |
| 72  | 鉄  | 釘    | 42.0 | 3.0  | 3.0  | 3.37  | 短軸断面四角丸方形か。       |   | 両端欠損  | 3区            |
| 73  | 鉄  | 釘    | 46.0 | 3.0  | 3.0  | 2.62  | 一方端が少し細くなる。       |   | 一方端欠損 | 3区            |

| No. | 材質 | 器種         | 長(mm) | 幅(mm) | 厚(mm) | 重(g)  | 形態等                         | 残存    | 出土位置          |
|-----|----|------------|-------|-------|-------|-------|-----------------------------|-------|---------------|
| 74  | 鉄  | 釘か         | 33.0  | 3.0   | 3.0   | 3.60  | 短軸断面方形。                     | 両端欠損  | 3区            |
| 75  | 鉄  | 釘か         | 40.0  | 4.0   | 2.0   | 3.41  | 短軸断面方形。                     | 両端欠損  | 3区            |
| 76  | 鉄  | 釘          | 30.0  | 3.0   | 3.0   | 2.67  | 頭は一方に突出。短軸断面方形。             | 一方端欠損 | 3区            |
| 77  | 鉄  | 釘か         | 30.0  | 2.0   | 2.0   | 1.31  | 短軸断面方形か。                    | 両端欠損  | 3区            |
| 78  | 鉄  | 釘か         | 22.0  | 2.5   | 2.5   | 1.29  | 短軸断面方形、少し曲がる。               | 両端欠損  | 4区            |
| 79  | 鉄  | 環状製品       | 30.0  | 3.0   | 3.0   | 3.14  | 短軸断面方形、環状に曲げる。              | 両端欠損  | 4区            |
| 80  | 鉄  | 釘          | 15.0  | 2.5   | 2.5   | 1.20  | 頭は側縁に突出。                    | 下端欠損  | 3区            |
| 81  | 鉄  | 釘          | 35.0  | 2.0   | 2.0   | 3.55  | 短軸断面方形、下方が少し細い。             | 両端欠損  | 4区            |
| 82  | 鉄  | 釘か         | 33.0  | 2.0   | 2.0   | 2.40  | 短軸断面方形。                     | 両端欠損  | 4区            |
| 83  | 鉄  | 不明製品       | 43.0  | 13.0  | 7.0   | 5.55  | 断面円形か、铁板の蝶番付きか。             | 一部存   | 4区            |
| 84  | 鉄  | 釘か         | 20.0  | 2.0   | 2.0   | 1.17  | 短軸断面方形か。                    | 両端欠損  | 3区            |
| 85  | 鉄  | 釘          | 32.0  | 3.5   | 4.5   | 2.53  | 断面方形で、粗粒に曲がる。               | 両端欠損  | 1区            |
| 86  | 鉄  | 釘          | 22.0  | 3.5   | 2.5   | 0.81  | 短軸断面方形。                     | 両端欠損  | 1区 SK-07      |
| 87  | 鉄  | 釘か         | 45.0  | 6.0   | 6.0   | 6.69  | 短軸断面丸で、棒状。                  | 両端欠損  | 1区            |
| 88  | 鉄  | 釘          | 23.0  | 2.5   | 3.0   | 1.24  | 短軸断面方形。                     | 両端欠損  | 1区 SK-07 No.3 |
| 89  | 鉄  | 釘          | 36.0  | 3.5   | 4.5   | 1.64  | 短軸断面方形。下部曲がる。               | 上端欠損  | 1区            |
| 90  | 鉄  | 釘          | 23.5  | 2.8   | 3.5   | 0.80  | 短軸断面方形。                     | 両端欠損  | 1区            |
| 91  | 鉄  | 釘          | 30.0  | 3.2   | 5.0   | 1.30  | 短軸断面長方形、下方が細い。              | 上端欠損  | 3区            |
| 92  | 鉄  | 釘          | 32.0  | 4.0   | 4.0   | 1.28  | 頭は斜め、断面方形。断面方形か。            | 完存    | 4区            |
| 93  | 鉄  | 釘          | 27.0  | 4.0   | 4.0   | 1.18  | 頭は突出か。                      | 上端欠損  | 4区            |
| 94  | 鉄  | 釘          | 25.0  | 3.5   | 3.0   | 1.20  | 短軸断面方形、一方が細くなる。             | 両端欠損  | 4区            |
| 95  | 鉄  | 釘          | 52.0  | 5.5   | 4.0   | 4.05  | 上端平坦、短軸断面方形。                | ほぼ完存  | 3区 ST-01      |
| 96  | 鉄  | 釘          | 42.0  | 7.0   | 7.0   | 6.14  | 下方は細くなる。短軸断面方形。             | 両端欠損  | 4区            |
| 97  | 鉄  | 釘か鍵        | 26.0  | 2.0   | 2.0   | 0.51  | 遺存部はL字に折れ、断面方形。             | 一方端欠損 | 4区            |
| 98  | 鉄  | 環状製品       | 28.0  | 3.0   | 3.0   | 3.69  | 短軸断面方形。環状に曲げる。              | 両端欠損  | 4区            |
| 99  | 鉄  | 釘          | 40.0  | 3.0   | 3.0   | 3.47  | 頭は一方に突出。短軸断面方形。             | 一方端欠損 | 3区            |
| 100 | 鉄  | 鉗状品        | 25.0  | 6.0   | 2.0   | 3.21  | 先端が尖っている釣り針か。               | 上端欠損  | 4区            |
| 101 | 鉄  | 釘          | 35.0  | 9.5   | 6.5   | 4.90  | 一方端は幅広になる。断面楕丸方形。           | 両端欠損  | 1区            |
| 102 | 鉄  | 不明製品       | 86.0  | 6.0   | 4.0   | 11.54 | 上端が拵状に曲がる。断面長方形。            | 一方端欠損 | 3区            |
| 103 | 鉄  | 不明製品       | 45.0  | 2.0   | 2.0   | 5.57  | 断面方形で織状に曲がる。                | 一部存   | 4区            |
| 104 | 鉄  | 釘か         | 13.0  | 3.0   | 3.0   | 1.82  | 短軸断面方形か。                    | 両端欠損  | 4区            |
| 105 | 鉄  | 不明製品       | 20.0  | 8.0   | 3.0   | 2.60  | 短軸断面長楕円形。                   | 両端欠損  | 4区            |
| 106 | 鉄  | 不明製品       | 13.0  | 10.5  | 4.0   | 7.90  | 短軸断面長方形で長軸少し反り。             | 一方端欠カ | 1区 SK-07      |
| 107 | 鉄  | 不明製品       | 16.0  | 2.0   | 2.0   | 3.95  | 鬼歯か、形状不明。                   | 一部存   | 4区            |
| 108 | 鉄  | 釘?         | 69.5  | 2.5   | 2.5   | 10.12 | しの字形で先端は錐く尖る。               | 上端欠損  | 3区 P5         |
| 109 | 鉄  | 不明製品       | 18.0  | 9.0   | 3.0   | 2.82  | 短軸断面長方形。                    | 端欠損   | 3区            |
| 110 | 鉄  | 鍼か         | 24.0  | 32.0  | 5.0   | 15.34 | 短軸断面くの字に折れる。長軸には緩やかな弧状。鍛造か。 | 一部存   | 4区            |
| 111 | 鉄  | U字形<br>製品  | 66.0  | 4.5   | 6.5   | 16.73 | 短軸断面板状、U字形に曲げる。             | 長軸両端欠 | 1区 SK-07      |
| 112 | 鉄  | 不明製品       | 49.0  | 17.0  | 6.5   | 16.04 | T字形をし、断面菱方形。                | 長軸端欠  | 1区 SK-07      |
| 113 | 鉄  | 鉗状品        | 45.0  | 8.0   | 8.0   | 15.47 | しの字形で、断面やや丸いか。              | 両端欠損  | 3区            |
| 114 | 鉄  | 刀子         | 17.0  | 51.5  | 1.5   | 3.89  | 頭は椎突のみ、刃部平造り。               | 塞と闇   | 1区 SK-07 No.3 |
| 115 | 鉄  | 刀子         | 33.0  | 11.0  | 3.0   | 5.47  | 丸様か。                        | 一部存   | 4区            |
| 116 | 鉄  | 不明         | 16.0  | 20.0  | 2.0   | 1.95  | 長短軸反りなし。146と同一片。            | 一部存   | 1区 SK-07 No.2 |
| 117 | 鉄  | 不明製品       | 31.0  | 12.0  | 3.0   | 6.63  | 平面台形状、短軸断面長方形。              | 一部存   | 4区            |
| 118 | 鉄  | 不明板状<br>製品 | 29.0  | 16.0  | 2.0   | 2.15  | 長短軸反りなし。146と同一片。            | 一部存   | 1区 SK-07 No.2 |
| 119 | 鉄  | 不明製品       | 62.0  | 2.0   | 4.0   | 17.33 | 一辺は刃部状、一辺は角様状。              | 一方端欠損 | 3区            |
| 120 | 鉄  | 板状品        | 35.0  | 12.0  | 3.0   | 5.39  | 側縁一辺は直線状、他は不定形。             | 一部存   | 4区            |
| 121 | 鉄  | 不明         | 17.0  | 17.5  | 3.5   | 1.67  | 長短軸反りなし。146と同一片。            | 一部存   | 1区 SK-07 No.2 |
| 122 | 鉄  | 不明板状<br>製品 | 34.0  | 28.0  | 2.5   | 3.97  | 側縁闊造存、半祖。                   | 一部存   | 1区 SK-07      |
| 123 | 鉄  | 不明製品       | 18.5  | 9.5   | 2.5   | 2.54  | 鍛着ぐく、板状。                    | 一部存   | 1区            |

## 第3章 発見された遺構と遺物

| No. | 材質 | 器種        | 長(mm) | 幅(mm) | 厚(mm) | 重(g)   | 形態等                              | 残存                     | 出土位置          |
|-----|----|-----------|-------|-------|-------|--------|----------------------------------|------------------------|---------------|
| 124 | 鐵  | 不明板状品     | 31.5  | 15.0  | 2.5   | 1.93   | 側縫遺存しない、平坦。                      | 一部存                    | 1区 SK-07      |
| 125 | 鐵  | 不明板状品     | 22.0  | 51.5  | 3.5   | 11.48  | 一側縫のみ遺存、断面平坦。                    | 一部存                    | 1区 SK-07      |
| 126 | 鐵  | 不明板状品     | 14.0  | 16.5  | 1.0   | 0.77   | 長短軸反りなし。140と同一片。                 | 一部存                    | 1区SK-07 No. 2 |
| 127 | 鐵  | 不明板状品     | 16.0  | 23.5  | 1.5   | 2.14   | 側縫欠損、偏平。                         | 一部存                    | 1区            |
| 128 | 鐵  | 不明板状品     | 28.5  | 32.0  | 4.0   | 4.11   | 偏平で、側縫一辺遺存。                      | 側縫遺存                   | 2区            |
| 129 | 鐵  | 不明板状品     | 14.5  | 26.5  | 1.2   | 14.33  | 長軸断面弧状、鍛え合わせ。                    | 一部存                    | 2区            |
| 130 | 鐵  | 不明        | 16.5  | 20.5  | 0.3   | 1.52   | 平坦な板状。                           | 残存不明                   | 1区 SK-07      |
| 131 | 鐵  | 不明板状品     | 27.5  | 36.5  | 3.5   | 6.32   | 長短軸反りなし。148と同一片。                 | 一部存                    | 1区SK-07 No. 2 |
| 132 | 鐵  | 不明板状品     | 18.0  | 27.0  | 4.0   | 2.41   | 長短軸反りなし。148と同一片。                 | 一部存                    | 1区SK-07 No. 2 |
| 133 | 鐵  | 板状製品      | 18.0  | 14.0  | 1.0   | 0.61   | 側面は鉛直面。                          | 一部存                    | 1区            |
| 134 | 鐵  | 板状品       | 37.0  | 19.0  | 2.0   | 2.55   | 板状の切れ端か。                         | 一部存                    | 4区            |
| 135 | 鐵  | 板状品       | 26.0  | 13.0  | 2.0   | 4.99   | 板状の切れ端か。                         | 一部存                    | 4区            |
| 136 | 鐵  | 板状品       | 32.0  | 33.0  | 2.5   | 5.07   | 縫は鉛直に折れ、長軸断面平坦。                  | 一部存                    | 1区SK-07 No. 3 |
| 137 | 鐵  | 不明大方形板状品  | 57.0  | 14.0  | 2.5   | 16.95  | 板状部は偏平、別な品が付着。                   | 一部存                    | 1区 SK-07      |
| 138 | 鐵  | 不明品       | 51.5  | 18.5  | 6.0   | 9.57   | 長軸断面凹状の板状品。                      | 一部存                    | 1区            |
| 139 | 鐵  | 釘か        | 39.0  | 15.0  | 6.0   | 6.82   | 断面方形で、2本の釘が接着か。                  | 一部存                    | 4区            |
| 140 | 鐵  | 不明板状品     | 50.0  | 12.0  | 1.5   | 4.76   | 長軸一方端に捻じれあり。                     | 両端欠損か                  | 3区            |
| 141 | 鐵  | 不明棒状品     | 67.0  | 12.0  | 8.0   | 23.61  | 断面台形、下位で3面に継ぎあり。                 | 両端欠損                   | 3区            |
| 142 | 鐵  | 板状品と利器    | 53.0  | 54.0  | 2.5   | 25.87  | 板状品は偏平、縫は一辺残る。利器は2枚合わ<br>せ鍛えた刃形。 | 第一部 刃部<br>第二部 刃部<br>一部 | 1区SK-07 No. 3 |
| 143 | 鐵  | 長方形板状品    | 88.0  | 60.5  | 4.0   | 56.27  | 長軸断面平坦、平面や台形状。                   | 一方端欠損                  | 1区SK-07 No. 3 |
| 144 | 鐵  | 不明品       | 20.0  | 15.0  | 3.0   | 1.89   | 製品品目可能性あり。                       | 一部存                    | 4区            |
| 145 | 鐵  | 不明板状品     | 61.0  | 149.5 | 3.0   | 127.33 | 長軸のみがわざかに反る。                     | 長軸中位存                  | 1区SK-07 No. 2 |
| 146 | 鐵  | 鉢状品       | 18.0  | 4.0   | 2.0   | 3.03   | C字状で、先端が縮くなる。                    | 一方端欠損                  | 4区            |
| 147 | 鐵  | タガボカ      | 196.0 | 17.0  | 9.5   | 123.13 | 下端は台形状、上端は正面に膨らむ。                | 完存か                    | 1区            |
| 148 | 鐵  | 不明製品      | 22.0  | 32.0  | 1.0   | 3.87   | 碗形に盛み、両端を折る。                     | 完存                     | 3区            |
| 149 | 鐵  | 鉢状品       | 22.0  | 9.0   | 2.0   | 3.16   | 長軸くち字、先端刃部なし。                    | 一方端欠損                  | 4区            |
| 150 | 鐵  | 鉢状品       | 11.0  | 16.0  | 13.0  | 6.14   | 鉢形に鉄塊付着。                         | 完存                     | 4区            |
| 151 | 鐵  | 釘か        | 40.0  | 9.0   | 2.0   | 6.89   | 2本の釘か1本のものか不明。                   | 一方端欠損                  | 4区            |
| 152 | 鐵  | 鉢状品       | 20.0  | 5.0   | 4.5   | 5.44   | 鉢形に曲げる。短軸断面長方形で、柄の真め金<br>か。      | 一部欠                    | 4区            |
| 153 | 鐵  | 不明金具      | 23.5  | 17.5  | 5.0   | 8.05   | 板状金具を標状品に付ける。                    | 板状品欠                   | 1区            |
| 154 | 鐵  | 留金具       | 36.0  | 4.0   | 3.5   | 3.69   | 頭は攢形、足細り、別物付着。                   | 完存                     | 1区 SK-07      |
| 155 | 鐵  | 不明製品      | 40.0  | 20.5  | 1.5   | 12.59  | 標状品か標状品が繋いでいる。                   | 一部存                    | 1区 SK-07      |
| 156 | 鐵  | 不明製品      | 60.0  | 5.0   | 5.0   | 8.67   | 標状の縫に裏状の縫付着                      | 一部存                    | 注記不明          |
| 157 | 鐵  | 不明        | 50.4  | 24.5  | 11.0  | 25.64  | 圓の左側巻き、他は板状。                     | ほぼ完存                   | 1区 S-6        |
| 158 | 鐵  | 吊り金具      | 41.5  | 37.5  | 8.5   | 20.74  | コの字形で、縫と両端に孔あり。                  | 完形                     | 3区 P6         |
| 159 | 鐵  | 不明円筒品     | 17.0  | 17.0  | 9.0   | 14.24  | 上下縫は皿状に盛る。                       | 完形か                    | 3区 S1-01      |
| 160 | 鐵  | 火打も石      | 16.0  | 52.5  | 3.5   | 11.95  | 上の側面はのばして折る。下端瘤状。                | ほぼ完存                   | 1区            |
| 161 | 鐵  | 金鋸        | 34.0  | 20.0  | 18.0  | 73.67  | 長軸側面に柄の孔。打面外縁は4側面とも凸形状。          | 完存                     | 3区            |
| 162 | 鐵  | 不明製品      | 10.0  | 75.5  | 25.0  | 22.89  | 平板をU字形に曲げ、先端は外反り。                | 残存不明                   | 1区            |
| 163 | 鐵  | 釘か        | 18.0  | 2.0   | 2.0   | 5.90   | 断面方形。                            | 両端欠損                   | 4区            |
| 164 | 鐵  | やす        | 94.0  | 36.0  | 2.5   | 26.63  | 刺織断面円形、基部は長方形。                   | 両端欠損                   | 3区 S1-01      |
| 165 | 鐵  | 取っ手の輪     | 78.0  | 74.0  | 釘120  | 249.70 | 縫は断面楕円形、釘は先端。                    | 完存                     | 1区SK-06 No. 3 |
| 166 | 鋼  | A型管腰音の大皿部 | 54.0  | 14.5  | 14.5  | A3.83  | 合わせは側面。                          | 一部存                    | 1区            |

| No. | 材質 | 器種      | 長(cm) | 幅(cm) | 厚(cm) | 重(g)   | 形態等              | 残存    | 出土位置 |
|-----|----|---------|-------|-------|-------|--------|------------------|-------|------|
| 167 | 銅  | B煙管首の基部 | 62.0  | 10.0  | 9.0   | 4.20   | 竹管遺存。            | 一部存   | 1区   |
| 168 | 鉄  | 和鉢      | 158.0 | 15.0  | 7.0   | 24.81  | 刃部断面長三角形、片面丸突あり。 | 半分遺存  | 3区   |
| 169 | 銅  | B煙管首    | 54.0  | 14.5  | 1.3   | 6.57   | 合わせ目は側面。         | 煙管首存  | 3区   |
| 170 | 銅  | 煙管火咀頭   | 15.0  | -     | 1.0   | 1.70   | 合わせ目不明瞭。         | 一部存   | 3区   |
| 171 | 銅  | 煙管吸い口   | 63.0  | 10.2  | 1.3   | 5.37   | 竹管遺存。            | 吸い口光存 | 3区   |
| 172 | 銅  | B吊り手の継  | 4.5   | 4.5   | 5.0   | B0.37  | 笠板は偏平。           | 光存    |      |
| 173 | 銅  | A錫吊り手   | 200.0 | 11.0  | 18.0  | A23.64 | 板状で、曲がる。端に孔。     | ほぼ光存  | 1区   |
| 174 | 銅  | A煙管吸い口か | 15.0  | 9.0   | 1.0   | A0.58  | 合わせ目不明瞭。         | 一部存   | 3区   |
| 175 | 銅  | B煙管吸い口か | 16.0  | 5.0   | 3.0   | B0.53  | 長い口襷れる。竹管遺存。     | 一部存   |      |
| 176 | 銅  | 毛抜き     | 67.0  | 6.0   | 1.4   | 5.53   | 偏平な鋼板折り曲げ。       | 先端欠   | 3区   |
| 177 | 銅  | 鑿       | 16.0  | 16.0  | 1.5   | 0.69   | 繁ぎ目1か折、断面円形。     | 光存    | 3区   |
| 178 | 銅  | ボタン状製品  | 20.0  | 20.0  | 3.5   | 2.45   | 中央に孔、周縁は折り曲げ。    | 光存か   | 3区   |
| 179 | 銅  | かんざし    | 68.0  | 54.0  | 20.0  | 3.21   | わずかに彫目。          | 光存    | 2区   |

第3表 銅・土製品観察表

| No. | 器種         | 口径(cm) | 底径(cm) | 高さ(cm) | 技術・文様等(内面/外面/高台内)                    | 産地  | 残存    | 出土地   | 備考 |
|-----|------------|--------|--------|--------|--------------------------------------|-----|-------|-------|----|
| 1   | 銅製品<br>大馬天 | -      | -      | 3.4    | 型造り、正面・背面の型抜き土を合わせて、接合面を削る。          | 在地系 | 光存    | 1区    |    |
| 2   | 土製品<br>大馬天 | -      | -      | 6.1    | 型造り、正面・背面の型抜き土を合わせて、接合面を削る。          | 在地系 | ほぼ光存  | 1区S-7 |    |
| 3   | 土製品<br>鼠   | -      | -      | 3.4    | 型造り、正面・背面の型抜き土を合わせて、接合面を削る。別頭して一方欠損。 | 在地系 | 体:1/2 | 1区S-7 |    |
| 4   | 土製品<br>獅子  | -      | -      | 残4.4   | 型造り、口の部分に双孔、裏面に遺存する鋸波面があり、火鉢か。       | 在地系 | 取手一部  | 2区    |    |

第4表 石製品観察表

| No. | 器種        | 長(cm) | 幅(cm) | 厚(cm) | 重(g)   | 形態等  | 残存        | 出土位置     |
|-----|-----------|-------|-------|-------|--------|--|-----------|----------|
| 1   | 石製品<br>不明 | 18.0  | 11.2  | 10.3  | 1.4kg  | 上面は表面の凹凸あり。裏面は平面横円形の足で、後地面は平滑。石材は安山岩。  | 一部存       | 3区SK1-01 |
| 2   | 石臼        | 10.0  | 5.5   | 11.5  | 1.4kg  | 上端と底部は、3段に割り切っている。下面と供給面は墨色になっている。石材はディサイド。  | 一部存       | 3区SK1-01 |
| 3   | 石臼        | 18.8  | 7.5   | 3.0   | 413.05 | 下面の奥の間隔は約1.5cmで、被熱痕あり。石材はディサイド。  | 周縁一部      |          |
| 4   | 石臼        | 32.2  | -     | 13.0  | 8.9kg  | 奥端より下端にまで受けと断面直角の溝。石材は安山岩。   | 1/2遺存     | 2区       |
| 5   | 石臼        | 怪27.0 | -     | 14.0  | 7.15kg | 日の輪、側面に付て平底三乳形の孔あり。足は3ヶ所。表面は暗灰色を呈し、輝付量少、観察は暗色の被熱色。石材は安山岩。                                  | 1/2遺存     | 3区SK1-01 |
| 6   | 馬石        | 13.8  | 4.0   | 2.5   | 210.37 | 表面全面が砥面であるが、図中下面と長軸1面の使用頻度が高く、磁性方向に長軸斜めが多く、側面に製作時の条痕がある。側面1面に長軸方向への断面風形の延び痕があり。石材は安山岩、中粗石。 | 光存        | 1区SI-07  |
| 7   | 砥石        | 8.5   | 3.6   | 4.0   | 214.28 | 側面は4面であるが、1面のみ使用頻度が高い。側面には製作時の条痕がある。主に長軸方向に延び。石材は安山岩、中粗石。                                  | 長軸側面欠損    | 1区SI-07  |
| 8   | 砥石        | 9.2   | 4.0   | 3.15  | 109.81 | 石材は4面であるが、1面のみ使用頻度が高く、1側面は砥面。長軸方向・斜方向に延び。1側面には連続の斜方旋あり。石材は製鉄質焼粘土か。中粗石。                     | 長軸側面欠損    | 1区SI-07  |
| 9   | 不倒石       | 10.2  | 3.96  | 1.9   | 112.19 | 短軸斜め直立で、裏面裏面と長軸方向の平行条縫がある。凸面は平滑になっていて、石材は片岩か。石英岩か。荒面。                                      | 長軸側面欠損    | 1区       |
| 10  | 砥石        | 8.0   | 3.0   | 1.8   | 52.37  | 砥面は3面で、図中中央の裏面は下端も短軸近くまでいる。石材は珪岩、中粗石。  | ほぼ光存      | 4区       |
| 11  | 砥石        | 11.75 | 3.75  | 4.4   | 342.35 | 砥面は3面で、裏面使用頻度が高く、1側面に難波形がある。斜方向・長軸方向に延び。石材は安山岩。  | 長軸・一方側面欠損 | 3区       |
| 12  | 砥石        | 8.0   | 3.7   | 1.4   | 64.74  | 砥面は4面で、各面使用頻度高い。側面の砥面も難波形。偏平な面は主に斜方向。側面は長軸方向などに延び。石材は立紋ホルンフェルス、点紋はキンセイ石か。土上に延びる。           | 長軸・一方側面欠損 | 3区SK-05  |

第5表 寶永通寶觀察表

| ID | 標識名     | 測量時間  |       | 測量距離  |       | 傾斜角  | 高さ   | 日付        | 測定者 |
|----|---------|-------|-------|-------|-------|------|------|-----------|-----|
|    |         | (mm)  | (mm)  | (mm)  | (mm)  |      |      |           |     |
| 1  | 4       | 28.30 | 26.44 | 21.27 | 21.25 | 1.09 | 4.95 | 4/4/2016  | 実測  |
| 2  | 4       | 28.01 | 26.81 | 21.30 | 21.39 | 1.03 | 4.82 | 4/4/2016  | 実測  |
| 3  | 1-07    | 28.49 | 26.70 | 21.33 | 21.30 | 1.24 | 3.78 | 3/15/2016 | 実測  |
| 4  | 1       | 25.38 | 25.20 | 20.40 | 20.19 | 1.39 | 3.00 | 3/21/2016 | 実測  |
| 5  | 1       | 25.43 | 25.20 | 20.17 | 20.17 | 1.15 | 2.87 | 2/8/2016  | 実測  |
| 6  | 1       | 25.63 | 26.76 | 20.37 | 20.29 | 1.24 | 2.83 | 2/6/2016  | 実測  |
| 7  | 3       | 25.82 | 25.54 | 20.40 | 20.31 | 1.46 | 4.02 | 3/5/2016  | 実測  |
| 8  | 3-05    | 26.64 | 25.54 | 20.24 | 20.16 | 1.41 | 3.86 | 4/5/2016  | 実測  |
| 9  | 4-07    | 25.31 | 25.20 | 20.00 | 19.97 | 1.45 | 4.14 | 3/5/2016  | 実測  |
| 10 | 4-07    | 25.49 | 25.00 | 20.09 | 20.09 | 1.37 | 2.81 | 3/2/2016  | 実測  |
| 11 | 4-07    | 25.74 | 25.62 | 20.41 | 20.45 | 1.26 | 2.87 | 2/6/2016  | 実測  |
| 12 | 4-07    | 25.41 | 24.40 | 20.00 | 19.95 | 1.44 | 3.63 | 3/4/2016  | 実測  |
| 13 | 4-07    | 26.09 | 25.48 | 20.38 | 20.17 | 1.32 | 4.27 | 4/16/2016 | 実測  |
| 14 | 4-07    | 25.25 | 25.15 | 20.20 | 20.07 | 1.31 | 2.75 | 2/5/2016  | 実測  |
| 15 | 4-07    | 25.20 | 25.20 | 20.67 | 20.41 | 1.35 | 2.97 | 2/1/2016  | 実測  |
| 16 | 4-07    | 25.15 | 25.00 | 20.13 | 19.99 | 1.31 | 3.13 | 2/4/2016  | 実測  |
| 17 | 4-07    | 25.58 | 25.56 | 20.42 | 20.46 | 1.42 | 4.08 | 3/7/2016  | 実測  |
| 18 | 4-07    | 25.21 | 25.22 | 20.11 | 20.03 | 1.12 | 2.78 | 3/9/2016  | 実測  |
| 19 | 4-07    | 25.66 | 25.62 | 20.72 | 20.21 | 1.19 | 3.42 | 2/22/2016 | 実測  |
| 20 | 4-07    | 25.25 | 25.15 | 19.90 | 19.90 | 1.31 | 3.47 | 3/28/2016 | 実測  |
| 21 | 3       | 25.05 | 25.45 | 20.20 | 20.12 | 1.74 | 2.65 | 2/8/2016  | 実測  |
| 22 | 4-07    | 24.95 | 25.24 | 18.79 | 18.69 | 1.17 | 3.95 | 3/17/2016 | 実測  |
| 23 | 4-07    | 25.34 | 25.37 | 18.79 | 18.74 | 1.31 | 3.45 | 3/4/2016  | 実測  |
| 24 | 4-07    | 25.05 | 25.49 | 19.92 | 19.96 | 1.30 | 3.94 | 3/7/2016  | 実測  |
| 25 | 4-07    | 25.09 | 25.37 | 19.71 | 19.65 | 1.23 | 3.35 | 3/6/2016  | 実測  |
| 26 | 4-07    | 25.75 | 25.48 | 20.23 | 20.23 | 1.40 | 4.02 | 3/23/2016 | 実測  |
| 27 | 4-07    | 25.44 | 25.57 | 20.00 | 20.14 | 1.38 | 3.86 | 3/6/2016  | 実測  |
| 28 | 4-07    | 25.11 | 25.13 | 19.18 | 19.01 | 1.88 | 4.14 | 2/8/2016  | 実測  |
| 29 | 4-07    | 24.95 | 24.91 | 20.40 | 20.50 | 1.32 | 2.99 | 2/40/2016 | 実測  |
| 30 | 4-07    | 23.69 | 23.67 | 18.72 | 18.79 | 1.17 | 3.32 | 2/13/2016 | 実測  |
| 31 | 3-05-01 | 24.02 | 24.47 | 18.45 | 18.72 | 1.08 | 3.36 | 3/11/2016 | 実測  |
| 32 | 2-04-01 | 24.54 | 24.81 | 18.70 | 18.62 | 1.00 | 3.90 | 3/10/2016 | 実測  |
| 33 | 2-04-01 | 24.53 | 24.55 | 19.65 | 19.11 | 1.29 | 3.63 | 3/4/2016  | 実測  |
| 34 | 3-05-01 | 24.65 | 24.49 | 18.04 | 18.02 | 1.39 | 3.78 | 3/9/2016  | 実測  |
| 35 | 3-05-01 | 25.15 | 25.25 | 20.02 | 20.02 | 1.34 | 4.07 | 3/42/2016 | 実測  |
| 36 | 3       | 23.52 | 23.52 | 18.75 | 18.93 | 0.93 | 2.05 | 1/16/2016 | 実測  |
| 37 | 4       | 24.02 | 24.00 | 19.76 | 19.65 | 1.27 | 3.54 | 3/35/2016 | 実測  |
| 38 | 3       | 24.09 | 24.78 | 19.75 | 19.75 | 1.39 | 3.85 | 2/27/2016 | 実測  |
| 39 | 3       | 23.85 | 23.84 | 18.62 | 18.73 | 1.46 | 2.31 | 2/21/2016 | 実測  |
| 40 | 4-07    | 23.32 | 23.23 | 19.09 | 18.97 | 1.83 | 2.37 | 2/7/2016  | 実測  |
| 41 | 1-07    | 24.63 | 24.62 | 18.93 | 18.95 | 1.25 | 3.26 | 3/29/2016 | 実測  |
| 42 | 4-07    | 21.65 | 23.65 | 18.07 | 18.04 | 1.59 | 2.49 | 2/40/2016 | 実測  |
| 43 | 4-07    | 24.28 | 24.54 | 19.38 | 19.38 | 1.63 | 2.61 | 2/42/2016 | 実測  |
| 44 | 4-07    | 26.55 | 26.34 | 20.74 | 20.44 | 1.32 | 3.09 | 2/8/2016  | 実測  |
| 45 | 4-07    | 25.15 | 25.42 | 20.42 | 20.24 | 1.36 | 3.75 | 2/20/2016 | 実測  |
| 46 | 4-07    | 24.53 | 24.35 | 19.96 | 19.87 | 1.34 | 2.96 | 2/26/2016 | 実測  |
| 47 | 4-07    | 25.47 | 25.27 | 19.81 | 19.83 | 1.10 | 2.76 | 2/5/2016  | 実測  |
| 48 | 4-07    | 25.49 | 25.29 | 20.87 | 20.01 | 1.24 | 3.34 | 3/15/2016 | 実測  |
| 49 | 4-07    | 23.00 | 23.36 | 19.94 | 19.84 | 1.32 | 2.63 | 2/26/2016 | 実測  |
| 50 | 4-07    | 24.82 | 24.77 | 20.18 | 19.84 | 1.27 | 2.42 | 2/23/2016 | 実測  |
| 51 | 4-07    | 22.40 | 23.22 | 18.66 | 18.63 | 1.81 | 2.86 | 2/05/2016 | 実測  |
| 52 | 4-07    | 23.22 | 23.20 | 19.17 | 19.17 | 0.81 | 2.57 | 2/28/2016 | 実測  |
| 53 | 4-07    | 25.01 | 25.26 | 20.31 | 20.22 | 1.36 | 3.13 | 2/24/2016 | 実測  |
| 54 | 4-07    | 22.97 | 24.08 | 19.89 | 19.80 | 1.17 | 2.76 | 2/7/2016  | 実測  |
| 55 | 3       | 25.01 | 24.98 | 18.63 | 18.68 | 1.12 | 2.48 | 3/4/2016  | 実測  |
| 56 | 4-07    | 22.91 | 22.99 | 19.08 | 19.04 | 1.28 | 2.84 | 2/28/2016 | 実測  |
| 57 | 4-07    | 23.24 | 23.42 | 19.04 | 19.07 | 1.22 | 2.17 | 2/44/2016 | 実測  |
| 58 | 4-07    | 24.30 | 24.93 | 19.60 | 19.70 | 1.30 | 3.78 | 3/5/2016  | 実測  |
| 59 | 3       | 22.47 | 22.20 | 19.77 | 19.84 | 1.19 | 2.77 | 2/50/2016 | 実測  |
| 60 | 4-07    | 23.11 | 22.87 | 19.25 | 19.09 | 0.93 | 2.95 | 2/26/2016 | 実測  |
| 61 | 4-07    | 23.24 | 23.25 | 19.67 | 19.69 | 1.14 | 2.79 | 2/28/2016 | 実測  |
| 62 | 4-07    | 22.28 | 23.27 | 19.15 | 19.15 | 1.19 | 2.62 | 2/43/2016 | 実測  |
| 63 | 4-07    | 23.00 | 23.11 | 18.64 | 18.71 | 1.06 | 2.66 | 2/27/2016 | 実測  |
| 64 | 4-07    | 25.38 | 26.26 | 18.99 | 18.95 | 1.30 | 3.73 | 2/5/2016  | 実測  |
| 65 | 4-07    | 25.03 | 25.00 | 19.76 | 19.78 | 1.19 | 2.70 | 2/31/2016 | 実測  |
| 66 | 4-07    | 24.05 | 23.99 | 18.92 | 18.71 | 1.26 | 2.88 | 2/27/2016 | 実測  |
| 67 | 4-07    | 23.94 | 23.94 | 19.12 | 19.12 | 1.41 | 3.16 | 2/41/2016 | 実測  |

## 第4章 総括

今回の境の明神遺跡の発掘調査は、国道294号線の道路東側拡幅部分だけに限定された南北に細長い調査範囲であったが、住居跡1軒、柱穴3基、土坑3基を確認した。住居跡SI-01より南側の調査区では、遺構らしきものは確認する事ができなかった。

発掘調査で出土した遺物は収納箱5箱に及び、主に近世・近代の遺物が検出し、総数は497点になった。その中で図示できた物は、陶磁器が167点、鉄製品が179点、土製品が4点、石製品が12点、古銭が135点である。陶磁器の中で時期の分かったものは、17世紀代が約4%、18～19世紀が約75%、19～20世紀の物が約21%という比率になった。以上のことから、今回の調査で出土した陶磁器の中心時期は、18～19世紀である事が考えられる。なお住居跡SI-01から出土した陶磁器は、18世紀前半を契機に、19世紀第4四半期にかかる遺物が見つかり、特に18世紀後葉の遺物が最も多く出土している。

特筆すべき遺物としては、第12図陶磁器実測図(6)に京焼と掲載した陶器碗の破片がある。時期は不明だが、灰釉地に金泥を使い、草花文を手描き上絵技法で作られた京焼の一部が出土した。京焼の出土から、当時この場所が奥州道中として整備され、参勤交代をはじめ交通・流通の幹線として多くの往来や交易があったことが想像できる。また、陶器では在地系窯で焼かれた物が多く見つかっているが、同じ在地窯ではなく胎土や釉の違いから複数の窯で生産された可能性があると指摘できる。しかし北関東地域の陶磁器流通網や在地窯が未整理のため不明な点が多く、今後は周辺地域の陶磁器流通網や在地窯と比較していくことが、課題といえる。

境の明神遺跡の集落の成立時期についても不明な点が多いが、絵図として確認できるものに『奥州道中』【増補行程記】がある。同資料は君命を受けた盛岡藩士が、江戸日本橋から盛岡までの道中筋を描いた道中絵図で、寛延4(1751)年に完成し献上されたものである。その絵図の一部に境の明神村や白坂峠の様子も描かれている。今回の調査で確認された住居跡SI-01は、絵図で推定される場所に小宿と表記がある。また出土した遺物の中で中心年代となる陶磁器類は、絵図が描かれた時期の前後に使用されていた可能性が高いと考えられる。その他にも、絵図にある「境の明神村入口」の木戸南側からは建物等は描かれておらず、実際に木戸があったと考えられる調査位置から南側には、遺構等は確認できず絵図と同じ状況であることが分かった。

今回の調査では、住居や建物と関連する可能性のある遺構を検出するのみとなってしまったが、江戸時代から近代までの生活を垣間みることができた。境の明神遺跡は福島県側にも存在しており、また今回の調査区の東側に平場が統一しているため、遺跡の全容を解明するに至らなかったが、今後の活用と解明の一助になれば幸いである。

### 参考文献

- ・新南部業書特装版 奥州道中【増補行程記】
- ・白河市教育委員会 2003 境の明神遺跡確認調査報告書
- ・栃木県教育委員会 2011 『栃木県歴史の道調査報告書2』 日光例幣使街道 奥州道中
- ・阿部昭 2010 『近世奥州道中における往還橋梁整備の進展』 国士館史学 第14号

# 写 真 図 版

図版一 境の明神遺跡航空写真・境の明神・県境碑



境の明神遺跡航空写真（南西から）



境の明神遺跡航空写真（西から）



境の明神遺跡航空写真（真上から 上が北東）



「從是北白川領」の石柱（北から）



境の明神県境（南から）

図版二 境の明神遺跡  
遺構写真（1）



SK-06 遺物出土状況（北から）



SK-06 遺物出土状況（南東から）



SK-07 遺物出土状況（北東から）



SK-08 砥出土状況（南から）



1区 P-01、02 完掘状況（北東から）



1区 P-01 完掘（縛出土）状況（北西から）

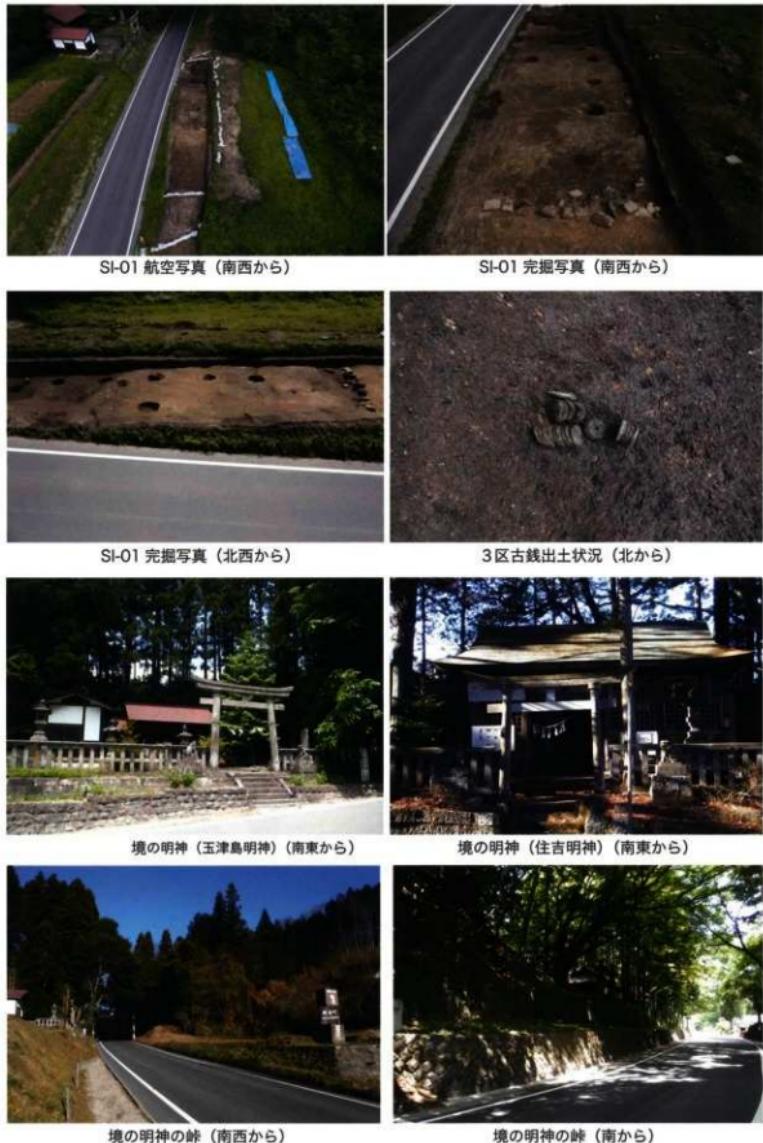


1区 P-02 完掘（縛出土）状況（北西から）



4区遺構完掘状況（北西から）

図版三 境の明神遺跡 遺構写真（2） 境の明神峠



図版四 境の明神遺跡 遺物写真（1）



陶磁器

図版五 境の明神遺跡 遺物写真（2）



陶磁器

図版六 境の明神遺跡 遺物写真（3）



陶磁器



21-169



鉄製品

## 報告書抄録

|        |   |
|--------|---|
| ふりがな   | さかいのみょうじんいせき                            |
| 書名     | 境の明神遺跡                                  |
| 副書名    | 快速で安全な道づくり事業費（県単）一般国道 294 号明神工区に伴う発掘調査  |
| 巻次     |   |
| シリーズ名  | 栃木県埋蔵文化財調査報告                            |
| シリーズ番号 | 第 399 集                                 |
| 編著者名   | 長瀬豊和                                    |
| 編集機関   | 公益財団法人とちぎ未来づくり財団 埋蔵文化財センター              |
| 所在地    | 〒329-0418 栃木県下野市紫474番地 TEL 0285-44-8441 |
| 発行機関   | 栃木県教育委員会 公益財団法人とちぎ未来づくり財団               |
| 発行年月日  | 西暦 2020 年 3 月 27 日（令和 2 年 3 月 27 日）     |

| ふりがな<br>所収遺跡名 | ふりがな<br>所在地 | コード |          | 北緯          | 東経           | 調査期間                        | 調査面積<br>m <sup>2</sup> | 調査原因                 |
|---------------|-------------|-----|----------|-------------|--------------|-----------------------------|------------------------|----------------------|
|               |             | 市町村 | 遺跡番<br>号 | °           | '            |                             |                        |                      |
| 境の明神          | 鏡須町<br>寄宿   |     |          | 37° 04' 06" | 140° 11' 07" | 2020年6月17<br>～<br>2020年9月30 | 564 m <sup>2</sup>     | 国道 294<br>号線拡幅<br>工事 |

| 所収遺跡名  | 種別  | 主な時代  | 主な遺構                     | 主な遺物      | 特記事項                   |
|--------|-----|-------|--------------------------|-----------|------------------------|
| 境の明神遺跡 | 村落跡 | 江戸～大正 | 住居跡 1軒<br>柱穴 3基<br>土坑 3基 | 陶磁器・古鏡・铁刃 | 江戸時代の<br>奥州道中沿<br>いの村落 |

|    |   |
|----|---|
| 要約 | 栃木県と福島県の県境に位置し、遺跡の目の前を旧奥州道中が通っている。近世の小宿に関連する住居跡・土坑や陶磁器類が出土した。出土遺物の年代は、17世紀から20世紀にかかるものが見つかっている。今回の調査範囲では、江戸期に描かれた絵図において、小宿と比定される建物や村入口とされる場所以南から建物等が無い状況が一致する可能性が高いことが分かった。 |
|----|---|

---

栃木県埋蔵文化財調査報告第399集

境の明神遺跡

—快速で安全な道づくり事業費（県単）

一般国道 294 号明神工区に伴う発掘調査—

発行 栃木県教育委員会

宇都宮市塙田1-1-20

TEL 028(623)3425

公益財団法人とちぎ未来づくり財団

宇都宮市本町1-8

TEL 028(643)1011

令和2年3月30日発行

編集 公益財団法人とちぎ未来づくり財団

埋蔵文化財センター

下野市紫474番地

TEL 0285(44)8441

印刷 株式会社 井上総合印刷

---